City of Kumamoto

熊本市 市勢要覧 2023

Outline of Kumamoto City

熊 本 市

発刊にあたって

熊本市は、熊本城に代表される歴史・文化、そして、清らかな地下水や「森の都」と称される豊かな緑を誇る九州中央の拠点都市です。

明治22年の誕生以来、130年を超える歴史の中で幾多の合併を経験するとともに、先人たちが築いてきた数多くの財産を受け継ぎ、74万都市が築き上げられてきました。

本市は、昨年4月に政令指定都市移行から10年の節目を迎えました。振り返りますと、平成28年熊本地震や新型コロナウイルス感染症など、私たち行政において大変厳しい対応を迫られた10年でした。

しかしながら、これらの経験を通して、改めて人と人との絆や地域のつながりの重要性を認識するとともに、国内外からの温かいご支援と市民の皆様の懸命なご努力により、復旧・復興、市民生活の再建への歩みを着実に進めてまいりました。

そして、昨年は、「第4回アジア・太平洋水サミット」や「第38回全国都市緑化くまもとフェア（くまもと花博）」など、熊本の未来に繋がるイベントを開催し、力強く復興している熊本の姿を広く発信することができました。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症が確認されて3年以上が経過し、5月からは感染症法上の位置付けが「5類感染症」へ移行されるなど、ウィズコロナ社会も新たな局面を迎えております。

本市では、引き続き、目指すまちの姿であります「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向け、新たに「こども局」を創設し、子どもを核としたまちづくりを進めるほか、交通渋滞対策やＤＸの推進、そして、ＴＳＭＣの熊本進出に向けた環境整備など、未来に向けた取組を積極的に進めてまいります。

この「熊本市　市勢要覧2023」が皆様方に本市の取組をご理解いただく一助となれば大変幸いに存じます。

令和5年（2023年）8月　　熊本市長　大西　一史

令和4年4月　シェアサイクル実証実験事業開始

令和4年10月　熊本市防災基本条例施行

〈熊本市自治基本条例〉

個性豊かで活力に満ちた熊本市をみんなで築いていくために、熊本市自治基本条例を平成22年（2010年）4月に施行しました。

この条例では、自治の基本理念、市民・市議会・行政の役割及び自治を推進するための基本的な事項を規定しています。

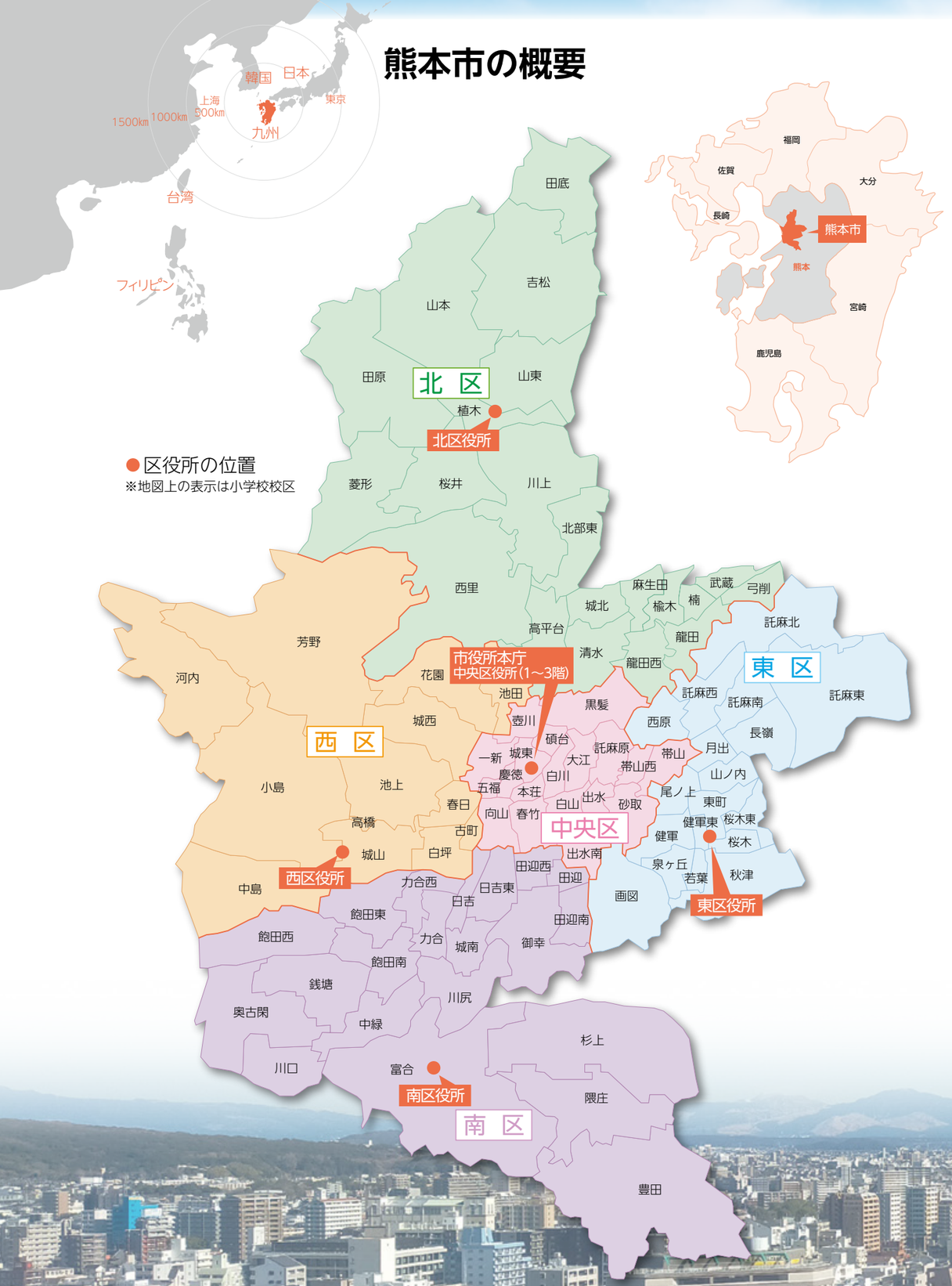
熊本市は、この条例に基づいて「自分たちのまちは自分たちで創る」という考え方を基本に置いた、情報共有、参画、協働によるまちづくりを進めています。

CONTENTS【目次】

発刊にあたって
市の概要 …… 2
第7次総合計画 …… 4
中央区 …… 8
東　区 …… 9
西　区 …… 10
南　区 …… 11
北　区 …… 12
市　政 …… 13
市議会 …… 14
機構図 …… 16
資料 …… 18
名誉市民 …… 41
市のシンボル …… 裏表紙

※本書では、数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計とは必ずしも一致しない場合がある。

熊本市の概要



●区役所の位置
※地図上の表示は小学校校区

●地域［位置・面積］

経度:東経130°42′29″　緯度:北緯32°48′12″
地点:中央区手取本町1番1号
総面積:390.32平方キロメートル
※世界測地系　資料:国土地理院

本市は九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分の位置にあります。

地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯、南部は白川の三角州で形成された低平野からなっています。

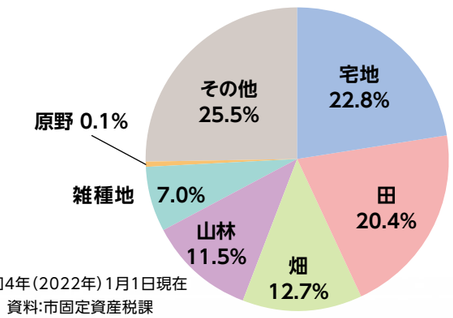
気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

●令和5年（2023年）推計人口に基づく行政区の人口等

行政区	面積(㎢)	人口(人)	男(人)	女(人)	世帯数(世帯)
中央区	25.45	186,233	87,901	98,332	101,494
東　区	50.19	189,954	90,114	99,840	82,927
西　区	89.33	90,276	42,333	47,943	40,791
南　区	110.01	131,610	61,998	69,612	52,022
北　区	115.34	138,172	65,546	72,626	58,152
合　計	390.32	736,245	347,892	388,353	335,386

（R5.4.1現在推計人口）　（面積:R5.4.1国土地理院公表値）
※推計人口とは、国勢調査確定値を基に毎月の転入・転出及び出生・死亡を増減したものです。

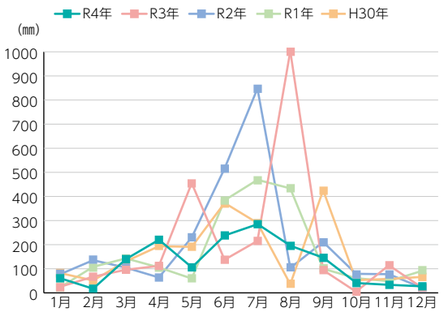
●地目別土地面積の割合



令和4年（2022年）1月1日現在
資料:市固定資産税課

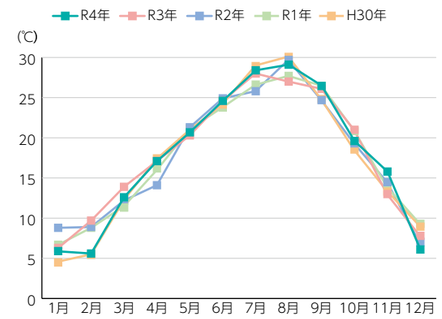
●過去5年間降水量比較

資料:熊本地方気象台



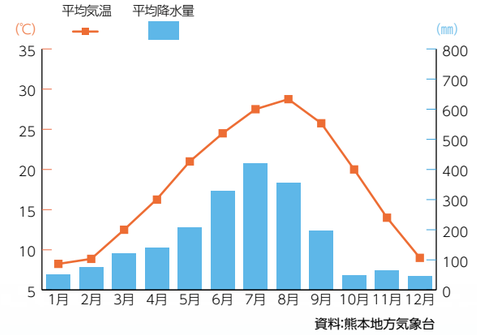
●過去5年間気温比較

資料:熊本地方気象台



●気温と降水量

（過去5年（H30年～R4年）の降水量と気温の平均）



資料:熊本地方気象台

第7次総合計画

めざすまちの姿

上質な生活都市

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

そのような、

市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」

を、私たちはめざします。

まちづくりの基本理念

まちづくりの原点は「地域」、そして、そこに暮らす私たち「市民」です。

本市は、歴史や自然に恵まれ、古くから九州の中核をなす拠点都市として発展し、豊かな自然環境と都市の利便性とが調和した、大変暮らしやすい都市です。

この伝統あるまちを先人たちから受け継いだ私たちは、まちの魅力をさらに磨き上げ、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

特に、「心の豊かさ」を重視する今の時代においては、家族や地域とのつながりと生活の満足度は深く関わりあっており、熊本地震では、人と人との絆や助け合いといった地域コミュニティの重要性が再認識されました。そこで、外国人を含めた多様な市民が豊かな暮らしを送るためには、生活の基盤となる地域が主体となってまちづくりを進め、安心して暮らせる住みやすいまちを築くことが必要です。

そのために、市民は、今まで以上に地域に目を向け、自ら主体的に地域の中でつながり、お互いに支え合い、地域が有する資源や特色をいかした自主自立のまちづくりに、楽しみながら取り組みます。

そして、行政は、積極的に市民の中に飛び込み、地域の課題や市民の意見、要望などを的確に把握し、市民とともに解決を図っていきます。

このように、まちづくりの主役である私たち市民と行政が、お互いに責任や役割を分担し、補い合いながら、自信と誇りを持って次の世代に引き継げるようなまちづくりに取り組んでいくことが大切です。

熊本地震からの復旧復興

めざすまちの姿を実現するため、市民力・地域力・行政力を結集し、熊本地震からの復旧復興に最優先に取り組みます。

1 被災者の生活再建に向けたトータルケア

切れ目のない生活再建・健康支援

- 再建後の孤立や健康悪化を防止するための見守りやコミュニティ形成支援　など

宅地復旧及び耐震化支援

- 液状化などの被災宅地への復旧支援
- 被災分譲マンションの建替・解体支援　など

心のケア

- 心の健康の確保に向けた一人ひとりの状況に合わせた支援
- カウンセリングが必要な児童生徒へのケア　など

2 防災・減災のまちづくり

災害に強い都市基盤の形成

- 道路・橋梁・公共施設などインフラの耐震化
- 公共交通ネットワークの構築と移動手段の多重化　など

市民・地域・行政の災害対応力の強化

- 校区防災連絡会・避難所運営委員会の設立・運営支援
- 震災対処実動訓練の推進　など

避難環境の強化

- 福祉避難所の拡充
- 災害用マンホールトイレの設置　など

3 熊本地震の記録と記憶の伝承

防災教育の推進

- 小中学校における防災教育副読本の活用などによる発達段階に応じた防災教育の充実
- 大規模地震を想定した避難訓練の実施　など

震災に関する記録の保存と活用

- 震災記録誌や復興手記集の活用
- 震災関連文書の保存　など

国内外への発信

- 国際会議や研修会での教訓や知見の発信
- 被災地への災害支援　など

まちづくりの重点的取組

めざすまちの姿を実現するための目標を市民と行政で共有し、市民とともに次の項目に優先的に取り組みます。

1 安心して暮らせるまちづくり

❶だれもが安心して子育てできる環境を整えます。

安心して子育てができる少子化対策の推進

- 保育所入所待機児童ゼロの取組
- 病児・病後児保育など多様なニーズに対応した保育サービスの提供
- 子育てにかかる経済的負担の軽減や子育て不安の解消
- 仕事と子育ての両立支援や障がい児支援、児童虐待防止体制の強化　など

子どもたちがいきいきと育つ環境整備

- ICTの導入による学習に集中できる環境整備や学力の向上対策
- いじめや不登校など子どもや保護者の悩みに寄り添うことができる体制づくり
- 子どもの貧困対策や生涯学習の充実
- 放課後児童対策の強化　など

❷「おたがいさま」で支え合う地域コミュニティを形成します。

多様な世代が生きがいをもって豊かに暮らせる自主自立のまちづくり

- 地域団体との連携強化や支援の充実
- 地域団体の後継者育成などのまちづくり支援機能の強化
- 市民公益活動の推進　など

健康で暮らしやすい生活都市づくり

- 子どもから高齢者まで住み慣れた地域で生活できる地域包括ケアシステムの深化・推進
- 校区単位の健康まちづくりなど生涯を通じた健康づくり
- 住民同士で支え合う地域福祉活動　など

2 ずっと住みたいまちづくり

❶だれもが移動しやすく暮らしやすい都市をつくります。

地域拠点に都市機能が集積した都市づくり

- 中心市街地と地域拠点での商業・医療など暮らしに必要な機能の維持・確保
- 利便性の高い公共交通沿線での人口密度の維持
- 歩いて楽しめる都市空間の創出　など

交通利便性が高い都市づくり

- 日常生活を支えるバス路線網の再編・運行体制の見直し
- 公共交通空白・不便地域へのコミュニティ交通の導入・維持
- 公共交通と自動車交通の最適な組み合わせと幹線道路網の整備による交通渋滞対策　など

❷雇用機会を創出し、熊本に住み、働ける環境を整備します。

地域経済の振興

- 中小・小規模事業者の事業承継への支援
- 農水産業の振興
- 経営支援、商店街の魅力向上やにぎわいの創出　など

安定した雇用の創出

- 就職・就業支援や職業訓練などによる新たな技術革新に対応できる産業人材の育成・還流
- 創業支援や企業誘致の推進などによる雇用の創出
- 農水産業における担い手の育成　など

3 訪れてみたいまちづくり

❶伝統文化とエンターテインメントが共鳴するにぎわいを生み出します。

歴史や伝統文化の継承・発展と観光の振興など熊本の魅力の創造・発信

- 熊本城の着実な復旧と公開
- 熊本城などの観光資源の魅力の向上と発信
- データ分析に基づく観光戦略　など

国内外から多くの人が集う交流とにぎわいづくり

- 熊本の特性をいかしたMICEやスポーツ大会などの誘致
- 国内外との交流促進
- 多文化共生のまちづくり　など

❷人と自然が共生する恵み豊かで持続可能なまち熊本を発信します。

世界が認めた地下水の保全と緑あふれるまちづくり

- 恵まれた地下水の質と量の保全
- 市域に残る自然環境の保全や新たな緑の創出
- プラスチック対策の推進　など

安全で良質な農水産物の魅力発信

- ICTやAI技術を活用したスマート農業の推進
- 安全・安心で良質な熊本の農水産物の発信
- 高付加価値化・ブランド化による国内外への販路拡大　など

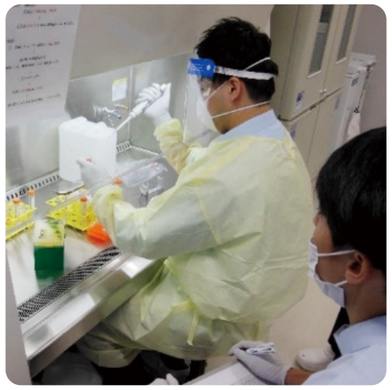
新型コロナウイルス感染症対策

市民の生命と健康、暮らしを守りつつ、疲弊した地域経済・市民生活の再建に取り組みます。

熊本市経済再建・市民生活安心プラン

施策1 感染拡大を防止する

❶感染拡大防止対策
❷医療提供体制等の整備



施策2 活気のある市民生活を取り戻す

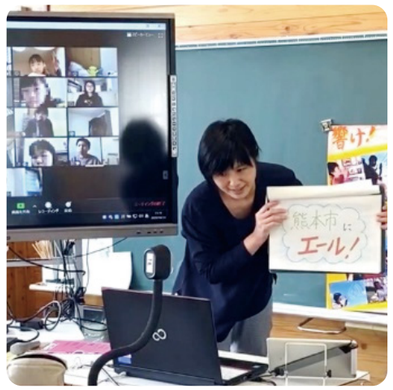
❶正しい知識の普及啓発と人権擁護
❷市民生活・健康の維持
❸こどもたちの学びと心のサポート

施策3 地域経済を再建する

❶中小企業・小規模企業等の事業継続
❷雇用の安定と人材育成
❸域内需要の循環
❹域外需要の取り込み
❺農水産業の振興
❻企業誘致と移住促進

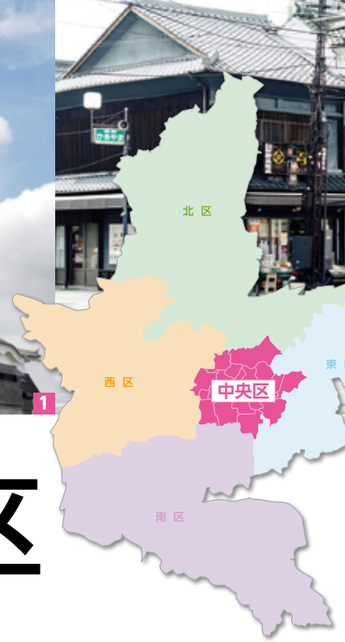
施策4 強靭な社会経済基盤を構築する

❶行政のデジタル化
❷スマートシティの実現
❸持続可能なまちへの転換



1

2



中央区

中央区役所
〒860-8618　中央区手取本町1番1号
☎096-328-2555(代表)

(R5.4.1現在推計人口)

人口 186,233人
世帯 101,494世帯
面積 25.45 ㎢ (R5.4.1国土地理院公表値)

人口密度が最も高く都市機能集積が進んでいる市中央部のエリアで、区の中央には県内一の中心商店街が広がる一方、周辺地域には城下町風情も残っており、新旧の調和が保たれています。行政機関や企業の本店も多く、交通網の拠点として熊本桜町バスターミナルからは放射線状にバス網が張り巡らされています。

また、区内を白川と坪井川が縦断し、中心部の熊本城一帯や北部の立田山の豊かな緑、南東部の水前寺成趣園や江津湖等の湧水など自然にも恵まれています。

3

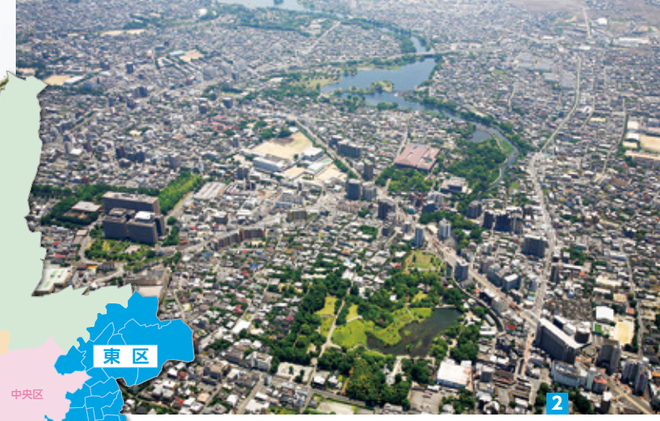
4

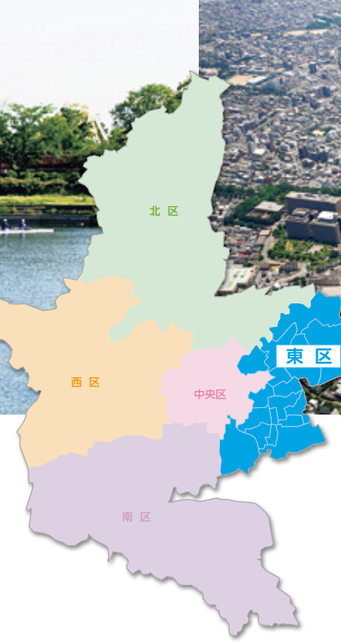
5

6

1熊本城
2新町・古町
3サクラマチクマモト
4通町筋
5白川夜市
6ジェーンズ邸

1


2



東区

東区役所
〒862-8555 東区東本町16番30号
☎096-367-9111(代表)

(R5.4.1現在推計人口)

人口 189,954人
世帯 82,927世帯
面積 50.19㎢ (R5.4.1国土地理院公表値)

東区は、熊本市の東部に位置し、5つの区の中ではもっとも人口の多い地域です。

区域内には国道57号(通称東バイパス)や主要地方道熊本益城大津線(通称第二空港線)、一般県道熊本空港線(通称国体道路)等の主要幹線が走り、商業施設や医療機関、学校や福祉施設等も多く、都会の姿を見せる一方で、北には託麻三山、南には江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然とが調和した住環境に優れた地域です。

3

5

4

6

1江津湖
2上空から見た江津湖
3江津湖
4横井小楠記念館・四時軒
5健軍商店街
6乳牛

1 2

西区

西区役所
〒861-5292 西区小島2丁目7番1号
☎096-329-1111（代表）

（R5.4.1現在推計人口）
人口 90,276人
世帯 40,791世帯
面積 89.33㎢（R5.4.1国土地理院公表値）

西区は、熊本市の西側に位置し、河内みかんなどの果樹栽培の盛んな金峰山、ノリやアサリ、ハマグリなどの養殖も盛んな有明海など豊かな自然に恵まれたところです。加えて、陸の玄関である熊本港、海の玄関である熊本港も擁しており、人や物の交流拠点として重要な役割を担っています。

また、国指定史跡である「池辺寺跡」や「千金甲古墳」のほか、宮本武蔵が五輪書を執筆した霊巌洞、加藤清正の菩提寺である本妙寺など名所、旧跡も数多く存在し、「自然」「食」「賑わい」「歴史」に恵まれた地域となっています。

3

4

5

6

1みかん畑と金峰山系
2石畳の道（草枕ハイキングコース）
3熊本駅
4熊本港
5釣耕園
6大将陣棚田

1 2

南区

南区役所
〒861-4189 南区富合町清藤405番地3
☎096-357-4111（代表）

（R5.4.1現在推計人口）
人口 131,610人
世帯 52,022世帯
面積 110.01㎢（R5.4.1国土地理院公表値）

南区は、加勢川、緑川など一級河川が有明海に注ぎ、雁回公園や塚原古墳公園などの拠点的な公園緑地を有する、自然豊かな地域であり、区域の半分を占める農地では、ナスやトマト、メロン、きゅうり、花きなどの栽培が盛んに行われています。

一方で、城南工業団地、県内の流通の拠点である流通業務団地、新幹線熊本総合車両所などがあり、熊本の製造業、運輸業の中枢を支える地域でもあります。

3

4

5

6

7

1上空から見た加勢川と緑川
2熊本総合車両所
3くまもと工芸会館
4川尻の船着場（熊本藩川尻米蔵跡）
5中無田閘門
6塚原古墳公園
7アクアドーム

1

2

北区

北区役所
〒861-0195 北区植木町岩野238番地1
☎096-272-1111(代表)

(R5.4.1現在推計人口)
人口 138,172人
世帯 58,152世帯
面積 115.34㎢ (R5.4.1国土地理院公表値)

北区は熊本市の北部に位置し、五つの区の中でもっとも面積が大きい区です。

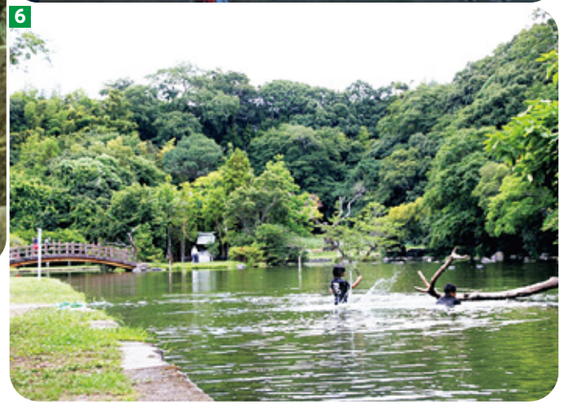
区域内を国道3号が走り、豊かな農産物に恵まれ、田原坂、武蔵塚等の史跡、また、本市の上水道発祥の地である八景水谷水源や立田山等歴史・文化そして自然も豊かです。

また植木温泉や宮原温泉、菊南温泉、梶尾温泉など癒しを得られる場所に富み、「食」「歴史」「自然」「温泉地」に恵まれた暮らしやすい地域です。

3

4

5



6

1区の花 ひまわり
2植木温泉
3田原坂資料館
4寂心さんの樟
5武蔵塚公園
6八景水谷公園

市　政

●歴代市長

代	氏　名	就任年月日	退任年月日
第1代	杉　村　大　八	明治 22. 5. 6	明治 26. 7. 9
2	松　崎　為　己	〃 26. 9. 15	〃 30. 8. 2
3	辛　島　　格	〃 30. 9. 13	大正 2. 1. 20
4	山　田　珠　一	大正 2. 4. 2	〃 3. 10. 10
5	依　田　昌　兮	〃 4. 1. 14	〃 6. 9. 3
6	佐　柳　藤　太	〃 6. 11. 20	〃 10. 11. 19
7	高　橋　守　雄	〃 11. 1. 19	〃 14. 7. 13
8	辛　島　知　己	〃 14. 9. 14	昭和 4. 7. 4
9	山　田　珠　一	昭和 5. 2. 5	〃 9. 4. 17
10	山　隈　　康	〃 9. 5. 14	〃 17. 5. 13
11	平　野　龍　起	〃 17. 6. 25	〃 20. 8. 10
12	石　坂　　繁	〃 20. 10. 4	〃 21. 3. 11
13·14	福　田　虎　亀	〃 21. 6. 14	〃 23. 2. 9
15	佐　藤　真佐男	〃 23. 4. 7	〃 27. 3. 7
16	林　田　正　治	〃 27. 3. 21	〃 31. 2. 23
17·18	坂　口　主　税	〃 31. 3. 16	〃 38. 1. 4
19·20	石　坂　　繁	〃 38. 2. 15	〃 45. 11. 26
21～24	星　子　敏　雄	〃 45. 12. 20	〃 61. 12. 6
25·26	田　尻　靖　幹	〃 61. 12. 7	平成 6. 12. 6
27·28	三　角　保　之	平成 6. 12. 7	〃 14. 12. 2
29～31	幸　山　政　史	〃 14. 12. 3	〃 26. 12. 2
32～34	大　西　一　史	〃 26. 12. 3	在　任　中

熊本市長
大西　一史

副市長
深水　政彦

副市長
中垣内　隆久

市議会

議長
田中敦朗

副議長
大嶌澄雄

市議会は、市民から選ばれた議員48名（中央区12名、東区12名、西区6名、南区9名、北区9名）で構成されています。会派としては、自由民主党熊本市議団（14名）、熊本自由民主党市議団（12名）、市民連合（7名）、公明党熊本市議団（7名）、日本共産党熊本市議団（2名）、参政党熊本市議団（2名）の6会派が結成されており、そのほか無所属議員（4名）となっています。

会議は年4回開かれる定例会と必要がある場合に開かれる臨時会があります。内部の審査機関としては、常任委員会と議会運営委員会及び特別委員会があります。常任委員会は予算・決算議案及び関連議案を審査する予算決算委員会のほか、総務・教育市民・厚生・環境水道・経済・都市整備の計7委員会があり、議案などの審査及び所管部門の事務の調査を行います。議会運営委員会は議会の運営に関する調査を行います。特別委員会は必要に応じて議会の議決により設置され、現在、庁舎整備に関する特別委員会、大都市行財政制度に関する特別委員会の2委員会があります。

●歴代市議会議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有馬源内	明治 22. 4. 26	明治 24. 1. 21
2	興津景章	〃 24. 1. 22	〃 28. 5. 13
3	河原惟親	〃 28. 5. 14	〃 31. 5. 22
4	吉永為己	〃 31. 5. 23	〃 36. 2. 5
5	山田珠一	〃 36. 2. 6	〃 37. 4. 30
6	吉永為己	〃 37. 5. 27	大正 2. 4. 30
7	林千八	大正 2. 5. 10	〃 6. 4. 30
8	山隈康	〃 6. 5. 15	〃 10. 9. 30
9	迫源次郎	〃 10. 10. 14	〃 14. 9. 30
10	山隈康	〃 14. 10. 12	昭和 9. 5. 7
11	平野龍起	昭和 9. 5. 8	〃 17. 6. 14
12	佐藤真佐男	〃 17. 7. 23	〃 22. 4. 29
13	佐藤真佐男	〃 22. 6. 9	〃 23. 4. 7
14	大塚勇次郎	〃 23. 6. 5	〃 26. 4. 29
15	大塚勇次郎	〃 26. 5. 15	〃 30. 4. 30
16	兼坂安次	〃 30. 5. 21	〃 34. 4. 8
17	打出信行	〃 34. 6. 12	〃 36. 3. 24
18	寸坂幸夫	〃 36. 3. 24	〃 38. 4. 30
19	阿部次郎	〃 38. 5. 18	〃 40. 3. 18
20	井上常八	〃 40. 3. 18	〃 40. 12. 7
21	石井辰雄	〃 41. 7. 4	〃 42. 4. 30
22	阿部次郎	〃 42. 5. 20	〃 43. 7. 3
23	坂梨日露	〃 43. 7. 13	〃 45. 12. 4
24	黒田弥一郎	〃 45. 12. 4	〃 46. 4. 30
25	落水清	〃 46. 5. 20	〃 48. 6. 6
26	古川国雄	〃 48. 6. 6	〃 50. 4. 30
27	紫垣正良	〃 50. 5. 16	〃 52. 6. 4
28	上田堅太	〃 52. 6. 4	〃 54. 4. 30
29	島永慶孝	〃 54. 5. 14	〃 56. 12. 8
30	藤山増美	〃 56. 12. 8	〃 58. 4. 30
31	宮原光男	〃 58. 5. 18	〃 60. 9. 6
32	大石文夫	〃 60. 9. 6	〃 61. 12. 15
33	内田幸吉	〃 61. 12. 15	〃 62. 4. 3
34	西村建治	〃 62. 5. 22	〃 63. 12. 16
35	村上春生	〃 63. 12. 16	平成 2. 3. 26
36	矢野昭三	平成 2. 3. 26	〃 3. 4. 30
37	嶋田幾雄	〃 3. 5. 17	〃 5. 12. 3
38	中村徳生	〃 5. 12. 3	〃 7. 4. 30
39	荒木哲美	〃 7. 5. 19	〃 9. 3. 27
40	主海偉佐雄	〃 9. 3. 27	〃 11. 4. 30
41	江藤正行	〃 11. 5. 21	〃 13. 6. 8
42	白石正	〃 13. 6. 8	〃 14. 6. 18
43	宮原政一	〃 14. 6. 18	〃 15. 4. 30
44	落水清弘	〃 15. 5. 23	〃 16. 9. 7
45	古川泰三	〃 16. 9. 7	〃 17. 12. 20
46	稲所史熙	〃 17. 12. 20	〃 19. 4. 30
47	牛嶋弘	〃 19. 5. 24	〃 20. 12. 22
48	竹原孝昭	〃 20. 12. 22	〃 22. 3. 2
49	坂田誠二	〃 22. 3. 2	〃 23. 4. 30
50	津田征士郎	〃 23. 5. 23	〃 25. 3. 26
51	齊藤聡	〃 25. 3. 26	〃 26. 3. 24
52	三島良之	〃 26. 3. 24	〃 27. 4. 30
53	満永寿博	〃 27. 5. 13	〃 28. 3. 24
54	澤田昌作	〃 28. 3. 24	〃 30. 3. 26
55	くつき信哉	〃 30. 3. 26	〃 31. 4. 30
56	倉重徹	令和 1. 5. 15	令和 2. 6. 9
57	紫垣正仁	〃 2. 6. 9	〃 3. 6. 7
58	原口亮志	〃 3. 6. 7	〃 4. 6. 10
59	原亨	〃 4. 6. 10	〃 5. 4. 30
60	田中敦朗	〃 5. 5. 16	在任中

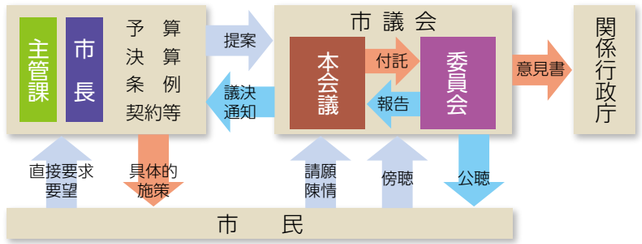
●歴代市議会副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	下田一直	明治 22. 4. 26	明治 24. 1. 21
2	下田耕造	〃 24. 1. 22	〃 31. 5. 22
3	片山甚十郎	〃 31. 5. 23	〃 32. 2. 7
4	林定男	〃 32. 2. 8	〃 36. 2. 5
5	出田彦太郎	〃 36. 2. 6	〃 36. 2. 11
6	園部交雅	〃 36. 2. 12	〃 36. 5. 11
7	板垣正軌	〃 36. 5. 12	〃 37. 2. 12
8	有働格四郎	〃 37. 2. 13	〃 40. 11. 4
9	板垣正軌	〃 40. 11. 14	〃 42. 1. 27
10	河田巖	〃 42. 1. 28	大正 2. 4. 30
11	井場熊喜	大正 2. 5. 10	〃 6. 4. 30
12	峡謙斎	〃 6. 5. 15	〃 7. 3. 10
13	藤野乱	〃 7. 3. 11	〃 10. 9. 30
14	水上誠規	〃 10. 10. 14	〃 14. 9. 30
15	河田巖	〃 14. 10. 12	昭和 4. 9. 30
16	平野龍起	昭和 4. 10. 12	〃 9. 5. 7
17	橋本寿七	〃 9. 5. 8	〃 17. 5. 20
18	西郷一恵	〃 17. 6. 11	〃 22. 4. 29
19	大塚勇次郎	〃 22. 6. 9	〃 23. 6. 5
20	加川恒次	〃 23. 6. 5	〃 26. 4. 29
21	北利民	〃 26. 5. 15	〃 28. 9. 5
22	上野勉	〃 28. 9. 25	〃 30. 4. 30
23	森光吉	〃 30. 5. 21	〃 32. 12. 28
24	吉村貞次	〃 34. 6. 12	〃 35. 3. 21
25	坂梨日露	〃 35. 3. 21	〃 37. 7. 9
26	吉村貞次	〃 37. 7. 9	〃 38. 4. 30
27	石井辰雄	〃 38. 5. 18	〃 41. 7. 4
28	吉村貞次	〃 41. 7. 4	〃 42. 4. 30
29	佐藤寿子	〃 42. 5. 20	〃 44. 3. 24
30	古川国雄	〃 44. 3. 25	〃 44. 6. 28
31	岩尾恵	〃 44. 9. 13	〃 46. 4. 30
32	阪本富	〃 46. 5. 20	〃 48. 6. 6
33	荒木昇	〃 48. 6. 6	〃 50. 4. 30
34	藤山増美	〃 50. 5. 16	〃 52. 6. 4
35	矢野昭三	〃 52. 6. 4	〃 54. 4. 30
36	上妻重蔵	〃 54. 5. 14	〃 56. 12. 8
37	田尻武男	〃 56. 12. 8	〃 58. 4. 30
38	白石正	〃 58. 5. 18	〃 60. 9. 6
39	北口政義	〃 60. 9. 6	〃 61. 12. 15
40	吉村潔	〃 61. 12. 15	〃 62. 4. 30
41	竹本勇	〃 62. 5. 22	〃 63. 12. 16
42	村上裕人	〃 63. 12. 16	平成 2. 3. 26
43	佐藤公平	平成 2. 3. 26	〃 3. 4. 30
44	西田続	〃 3. 5. 17	〃 5. 12. 3
45	伊形寛治	〃 5. 12. 3	〃 7. 4. 30
46	宮原正一	〃 7. 5. 19	〃 9. 3. 27
47	中沢誠	〃 9. 3. 27	〃 11. 4. 30
48	鈴木昌彦	〃 11. 5. 21	〃 13. 6. 8
49	岡田健士	〃 13. 6. 8	〃 14. 6. 18
50	奥田光弘	〃 14. 6. 18	〃 15. 4. 30
51	竹原孝昭	〃 15. 5. 23	〃 16. 9. 7
52	家入安弘	〃 16. 9. 7	〃 17. 12. 20
53	田尻清輝	〃 17. 12. 20	〃 19. 4. 30
54	磯道文徳	〃 19. 5. 24	〃 21. 3. 25
55	田中誠一	〃 21. 3. 25	〃 23. 4. 30
56	田尻将博	〃 23. 5. 23	〃 25. 3. 26
57	鈴木弘	〃 25. 3. 26	〃 27. 4. 30
58	藤岡照代	〃 27. 5. 13	〃 29. 3. 24
59	藤山英美	〃 29. 3. 24	〃 30. 3. 26
60	田辺正信	〃 30. 3. 26	〃 31. 4. 30
61	上田芳裕	令和 1. 5. 15	令和 3. 6. 7
62	園川良二	〃 3. 6. 7	〃 5. 4. 30
63	大嶌澄雄	〃 5. 5. 16	在任中

●市議会議員（令和5年7月18日現在）

氏名	会派	氏名	会派
田中敦朗	自民党	吉村健治	市民連合
大嶌澄雄	熊本自民	山内勝志	市民連合
村上麿	自民党	伊藤和仁	公明党
瀬尾誠一	無所属議員	高瀬千鶴子	公明党
菊地渚沙	参政党	小佐井賀瑞宜	自民党
山中惣一郎	無所属議員	寺本義勝	自民党
井坂隆寛	無所属議員	髙本一臣	熊本自民
木庭功二	公明党	西岡誠也	市民連合
村上誠也	自民党	田上辰也	市民連合
古川智子	自民党	三森至加	公明党
荒川慎太郎	自民党	浜田大介	公明党
松本幸隆	熊本自民	井本正広	公明党
中川栄一郎	熊本自民	大石浩文	自民党
松川善範	熊本自民	田中誠一	自民党
筑紫るみ子	参政党	坂田誠二	自民党
井芹栄次	共産党	落水清弘	自民党
島津哲也	市民連合	紫垣正仁	熊本自民
吉田健一	公明党	澤田昌作	熊本自民
齊藤博	自民党	田尻善裕	無所属議員
田島幸治	自民党	満永寿博	熊本自民
日隈忍	自民党	藤山英美	熊本自民
山本浩之	熊本自民	上野美恵子	共産党
北川哉	熊本自民	上田芳裕	市民連合
平江透	熊本自民	村上博	市民連合

■市議会のしくみ



●常任・特別委員会（令和5年5月16日現在）

名称		定数	所管事項	
常任委員会	予算決算委員会	48名	予算及びこれに関連する事項　決算及びこれに関連する事項	
	総務委員会	8名	政策局、総務局、財政局、都市政策研究所、会計総室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会、議会局の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項	予算決算委員会の所管に属する事項を除く
	教育市民委員会	8名	文化市民局、教育委員会の所管に属する事項	
	厚生委員会	8名	健康福祉局、こども局、病院局の所管に属する事項	
	環境水道委員会	8名	環境局、上下水道局の所管に属する事項	
	経済委員会	8名	経済観光局、農水局、農業委員会の所管に属する事項	
	都市整備委員会	8名	都市建設局、交通局の所管に属する事項	
議会運営委員会		13名	議会運営に関する調査	
特別委員会	庁舎整備に関する特別委員会	12名	本庁舎に求められる機能と在り方及びこれに係る諸問題に関する調査	
	大都市行財政制度に関する特別委員会	12名	大都市における行財政制度の在り方に関する調査	

熊本市機構図

令和5年(2023年)4月1日現在

凡例　局相当組織　部相当組織

- **議会局**
  - 総務課
  - 議事課
  - 政策調査課
  - 会計総室
- **政策局**
  - 総合政策部
    - 政策企画課
    - データ戦略課
    - 国際課
  - 秘書部
    - 秘書課
    - 広報課
    - 広聴課
  - 旧熊本市民病院解体対策室
  - 危機管理防災部
    - 危機管理課
    - 防災計画課
    - 防災対策課
  - 東京事務所
- **総務局**
  - 行政管理部
    - 総務課
      - コンプライアンス推進室
    - 法制課
    - 改革プロジェクト推進課
    - 人事課
      - 人材育成センター
    - 労務厚生課
    - 管財課
  - デジタル部
    - 情報政策課
    - デジタル戦略課
    - システム推進課
  - 契約監理部
    - 契約政策課
    - 工事契約課
    - 技術管理課
      - 検査室
- **財政局**
  - 財務部
    - 財政課
    - 債権管理課
    - 資産マネジメント課
  - 税務部
    - 税制課
    - 市民税課
      - 東税務室
      - 西税務室
      - 南税務室
      - 北税務室
    - 固定資産税課
    - 納税課
      - 特別滞納対策室
- **文化市民局**
  - オンブズマン事務局
  - 市民生活部
    - 地域政策課
    - 地域活動推進課
    - 生涯学習課
    - 生活安全課〔消費者センター〕
  - 人権推進部
    - 人権政策課
      - ふれあい文化センター
      - 植木ふれあい文化センター
    - 男女共同参画課
  - 文化創造部
    - 文化政策課
    - 文化財課
  - 熊本城総合事務所
    - 総務管理課
    - 復旧整備課
    - 熊本城調査研究センター
- **健康福祉局**
  - 指導監査課
  - 健康福祉部
    - 健康福祉政策課[保健所]
    - 保護管理援護課
    - 健康づくり推進課
    - 国保年金課
  - 高齢者支援部
    - 高齢福祉課
    - 介護保険課
    - 介護事業指導課
  - 障がい者支援部
    - 障がい福祉課
    - 障がい者福祉相談所
    - こころの健康センター[保健所]
  - 保健衛生部
    - 医療政策課[保健所]
    - 生活衛生課[保健所]
    - 動物愛護センター[保健所]
    - 食品保健課[保健所]
    - 感染症対策課[保健所]
    - 新型コロナウイルス感染症対策課[保健所]
- **こども局**
  - こどもの権利サポートセンター開設準備室
  - こども育成部
    - こども政策課
    - こども支援課
      - 西原公園児童館
      - 勤労青少年ホーム
    - 保育幼稚園課
      - 保育園(19)
  - こども福祉部
    - こども家庭福祉課
      - こども・若者総合相談センター
    - 妊娠内密相談センター
    - こども発達支援センター
  - 児童相談所
    - 一時保護所
- **環境局**
  - 環境推進部
    - 環境政策課
    - 脱炭素戦略課
    - 水保全課
    - 環境総合センター
  - 資源循環部
    - 廃棄物計画課
    - 環境施設課
      - 扇田環境センター
    - 事業ごみ対策課
    - 浄化対策課
    - 西部クリーンセンター
    - 東部クリーンセンター
    - 東部環境工場
- **経済観光局**
  - 産業部
    - 経済政策課
      - 計量検査所
    - 雇用対策課
    - 商業金融課
    - 企業立地推進課
    - 起業・新産業支援課
  - 観光交流部
    - 観光政策課
    - 誘致戦略課
    - 動植物園
  - スポーツ・イベント部
    - スポーツ振興課
    - イベント推進課
    - 競輪事務所
- **農水局**
  - 農政部
    - 農業政策課
      - 農水ブランド戦略室
    - 農業支援課
      - 鳥獣対策室
    - 農地整備課
  - 北東部農業振興センター
    - 農業振興課
      - 東農業振興室
    - 基盤整備課
  - 西南部農業振興センター
    - 農業振興課
      - 河内農業振興室
      - 南農業振興室
    - 基盤整備課
  - 水産振興センター

- **都市建設局**
  - 都市政策部
    - 都市政策課
    - 市街地整備課
    - 都市デザイン課
    - 開発指導課
    - 都市安全課
    - 建築指導課
      - 建築審査室
  - 交通政策部
    - 交通企画課
    - 移動円滑推進課
    - 自転車利用推進課
  - 住宅部
    - 住宅政策課
    - 市営住宅課
    - 空家対策課
  - 公共建築部
    - 建築保全課
    - 営繕課
    - 設備課
  - 土木部
    - 土木総務課
      - 用地調整室
    - 道路計画課
    - 道路整備課
      - 西環状道路推進室
    - 道路保全課
    - 河川課
    - 用地課
  - 森の都推進部
    - みどり政策課
    - みどり公園課
    - 花とみどり協働課
  - 都市政策研究所
- **中央区役所**
  - 区民部
    - 総務企画課
    - 区民課
    - 中央区まちづくりセンター
      - 五福交流室
      - 大江交流室
    - 中央区土木センター
      - 総務課
      - 維持課
  - 保健福祉部
    - 福祉課[福祉事務所]
    - 保護第一課[福祉事務所]
    - 保護第二課[福祉事務所]
    - 保健こども課[福祉事務所]
- **東区役所**
  - 区民部
    - 総務企画課
    - 区民課
    - 託麻まちづくりセンター
      - 託麻総合出張所
    - 秋津まちづくりセンター
    - 東部まちづくりセンター
    - 東区土木センター
      - 総務課
      - 維持課
  - 保健福祉部
    - 福祉課[福祉事務所]
    - 保護課[福祉事務所]
    - 保健こども課[福祉事務所]
- **西区役所**
  - 区民部
    - 総務企画課
    - 区民課
    - 西部まちづくりセンター
    - 河内まちづくりセンター
      - 河内総合出張所
      - 芳野分室
      - 河内交流室
    - 花園まちづくりセンター
    - 西区土木センター
      - 総務課
      - 維持課
      - 河内分室
  - 保健福祉部
    - 福祉課[福祉事務所]
    - 保護課[福祉事務所]
    - 保健こども課[福祉事務所]
- **南区役所**
  - 区民部
    - 総務企画課
    - 区民課
    - 富合まちづくりセンター
    - 飽田まちづくりセンター
    - 天明まちづくりセンター
      - 天明総合出張所
    - 幸田まちづくりセンター
      - 幸田総合出張所
    - 城南まちづくりセンター
      - 城南総合出張所
      - 城南交流室
    - 南部まちづくりセンター
    - 南区土木センター
      - 総務課
      - 維持課
      - 城南地域整備室
  - 保健福祉部
    - 福祉課[福祉事務所]
    - 保護課[福祉事務所]
    - 保健こども課[福祉事務所]
- **北区役所**
  - 区民部
    - 総務企画課
    - 区民課
    - 植木まちづくりセンター
    - 北部まちづくりセンター
    - 清水まちづくりセンター
      - 清水総合出張所
    - 龍田まちづくりセンター
      - 龍田総合出張所
    - 北区土木センター
      - 総務課
      - 維持課
      - 植木地域整備室
  - 保健福祉部
    - 福祉課[福祉事務所]
    - 保護課[福祉事務所]
    - 保健こども課[福祉事務所]
- **消防局**
  - 総務部
    - 総務課
    - 管理課
  - 予防部
    - 予防課
    - 指導課
  - 警防部
    - 警防課
    - 情報司令課
    - 救急課
  - 中央消防署
    - 指導課
    - 警防課
    - 出張所(1)
  - 東消防署
    - 指導課
    - 警防課
    - 出張所(2)
  - 西消防署
    - 指導課
    - 警防課
    - 出張所(4)
  - 南消防署
    - 指導課
    - 警防課
    - 出張所(4)
  - 北消防署
    - 指導課
    - 警防課
    - 出張所(3)
  - 益城西原消防署
    - 指導課
    - 警防課
    - 出張所(1)
- **交通局**
  - 総務課
  - 運行管理課
    - 上熊本車両工場
    - 大江営業所
- **上下水道局**
  - 総務部
    - 総務課
    - 経営企画課
      - 出納室
    - 料金課
      - 債権管理室
    - 給排水設備課
  - 計画整備部
    - 計画調整課
      - 技術監理室
    - 水道整備課
    - 下水道整備課
  - 維持管理部
    - 水道維持課
    - 下水道維持課
    - 水運用課
      - 水質管理室
    - 水再生課
      - 中部浄化センター
- **病院局**
  - 熊本市民病院 …… 診療各科、看護部、附属芳野診療所
  - 事務局
    - 総務企画課
    - 医事課
      - 情報システム室
    - 財務課
    - 植木病院事務局
  - 植木病院　診療各科　看護部
- **教育委員会事務局**
  - 教育総務部
    - 教育政策課
      - 公民館18館
    - 教育改革推進課
    - 学校施設課
    - 放課後児童育成課
    - 地域教育推進課
      - 金峰山少年自然の家
    - 図書館
      - 植木図書館
      - とみあい図書館
    - 博物館
  - 学校教育部
    - 指導課
    - 教職員課
    - 総合支援課
      - 教育相談室
      - 特別支援教育室
    - 健康教育課
    - 人権教育指導室
    - 教育センター

高等学校2校　特別支援学校2校　専修学校1校　中学校42校 分校1校　小学校92校　幼稚園6園　学校給食共同調理場13場

- 監査事務局
- 人事委員会事務局
- 熊本市選挙管理委員会事務局
- 区選挙管理委員会事務局(5)
- **農業委員会事務局**
  - 西南分室
  - 富合・城南分室
  - 北区分室

熊本市資料

1 人　口 …… 18
2 財　政 …… 21
3 産　業 …… 22
4 保健福祉 …… 23
5 生活・環境 …… 24
6 安心・安全 …… 27
7 教育・文化・観光 …… 28
8 市民のくらし …… 29
9 日本一住みやすいまちを目指して（政令指定都市比較） …… 30
10 日本一住みやすいまちを目指して（九州山口各県庁所在地比較） …… 32
11 主要観光地・施設等 …… 34
12 熊本市のあゆみ …… 36

※統計資料は四捨五入等の関係により、
内訳と計が一致しない場合があります。

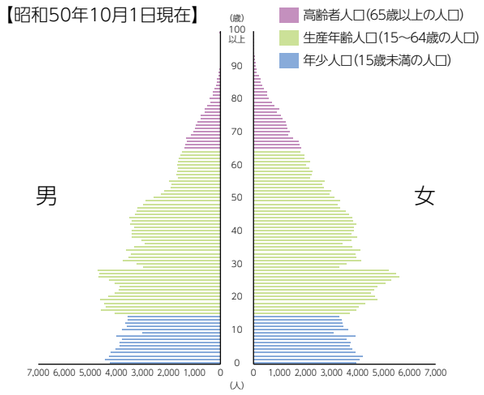
1 人口

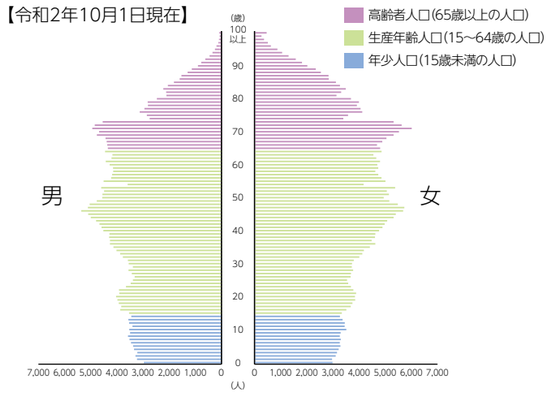
●国勢調査人口・世帯数の推移

年次		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口	総数	555,719	579,306	650,341	662,012	669,603	734,474	740,822	738,865
	男	265,037	275,424	310,118	314,455	316,048	344,291	348,470	349,115
	女	290,682	303,882	340,223	347,557	353,555	390,183	392,352	389,750
	年少人口(0～14歳)(%)	21.5	19.4	17.2	15.8	14.9	14.5	14.1	13.8
	生産年齢人口(15～64歳)(%)	68.7	69.2	69.0	67.9	66.5	64.5	61.7	59.7
	高齢者人口(65歳以上)(%)	9.9	11.4	13.8	16.3	18.5	21.0	24.2	26.6
世帯		194,486	211,207	246,700	260,672	270,530	302,413	315,456	326,920
1世帯当たり人員		2.9	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3	2.3

※平成20年10月6日に富合町と合併。平成22年3月23日に城南町及び植木町と合併。
※表中の総数には年齢不詳を含むが、人口構成比の算出に当たっては総数から年齢不詳を除外している。

●人口ピラミッド





●産業別就業者及び就業割合（民営）

令和3年経済センサス-活動調査

行政区	総数（産業大分類）	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能の産業	
		就業人口	就業割合	就業人口	就業割合	就業人口	就業割合	就業人口	就業割合
中央区	123,458	109	0.09%	6,961	5.64%	96,015	77.77%	20,373	16.50%
東区	71,787	220	0.31%	10,563	14.71%	55,800	77.73%	5,204	7.25%
西区	31,429	297	0.94%	3,292	10.47%	26,035	82.84%	1,805	5.74%
南区	54,008	375	0.69%	10,877	20.14%	40,388	74.78%	2,368	4.38%
北区	45,253	505	1.12%	11,048	24.41%	29,350	64.86%	4,350	9.61%
全市合計	325,935	1,506	0.46%	42,741	13.11%	247,588	75.96%	34,100	10.46%

●労働力状態

令和2年国勢調査

行政区	総数（労働力状態）	労働力人口	就業者					完全失業者	非労働力人口				不詳
				(就業者)主に仕事	(就業者)家事のほか仕事	(就業者)通学のかたわら仕事	(就業者)休業者			家事	通学	その他	
中央区	157,264	88,689	84,921	70,249	8,210	3,900	2,562	3,768	50,681	17,256	11,484	21,941	17,894
東区	157,804	92,279	88,828	74,996	9,729	1,644	2,459	3,451	50,403	18,380	8,996	23,027	15,122
西区	78,330	43,926	42,132	35,320	4,482	975	1,355	1,794	26,829	8,320	4,648	13,861	7,575
南区	108,226	63,638	61,422	52,125	6,672	822	1,803	2,216	34,707	11,272	5,464	17,971	9,881
北区	118,629	68,027	65,429	55,589	6,981	995	1,864	2,598	40,357	13,833	6,066	20,458	10,245
全市合計	620,253	356,559	342,732	288,279	36,074	8,336	10,043	13,827	202,977	69,061	36,658	97,258	60,717

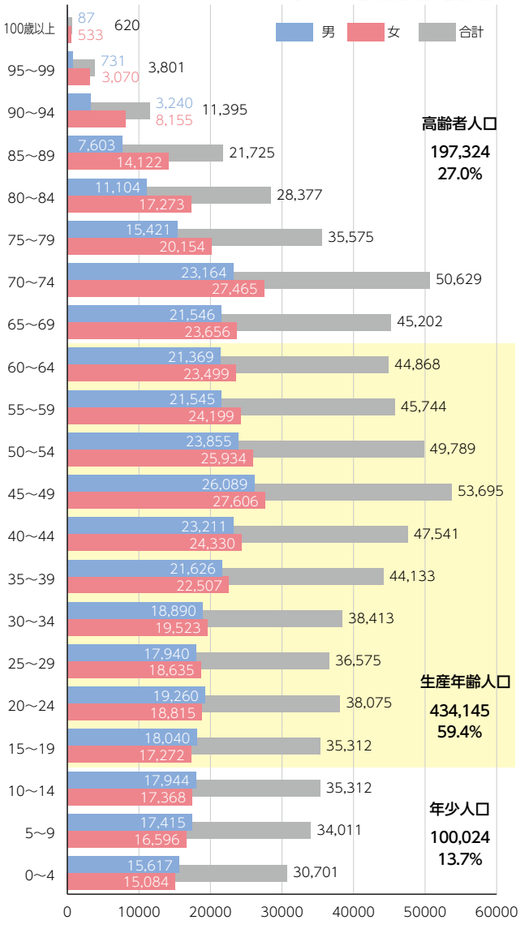
●夜間人口、流入・流出人口および昼間人口の推移

年次	夜間人口（国勢調査人口）			流入人口		流出人口		昼間人口			夜間人口対昼間人口比 D/A×100
	実数A	増減数	増減率	実数B	増減率	実数C	増減率	実数D=A+B−C	増減数	増減率	
平成12年	661,615	11,977	1.8%	76,018	2.1%	35,977	15.3%	701,656	8,768	1.3%	106.1%
17年	668,513	6,898	1.0%	73,928	△2.7%	44,352	23.3%	698,089	△3,567	△0.5%	104.4%
22年	734,474	65,961	9.9%	70,620	△4.5%	48,001	8.2%	757,093	59,004	8.5%	103.1%
27年	740,822	6,348	0.9%	71,762	1.6%	55,732	16.1%	756,852	△241	△0.03%	102.2%
令和2年	738,865	△1,957	△0.3%	69,047	△3.8%	57,098	2.5%	750,814	△6,038	△0.8%	101.6%

※平成17年までは、年齢不詳は含まず、平成22年から含む。

●年齢5歳階級別人口

(令和4年10月1日現在住民基本台帳人口)

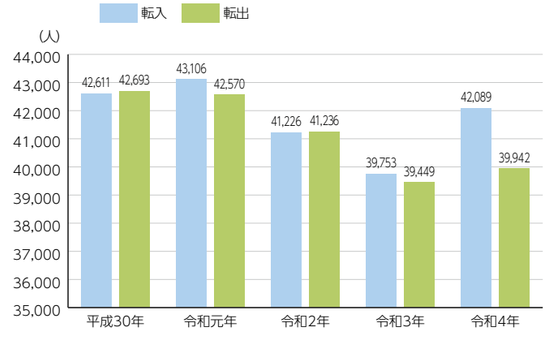


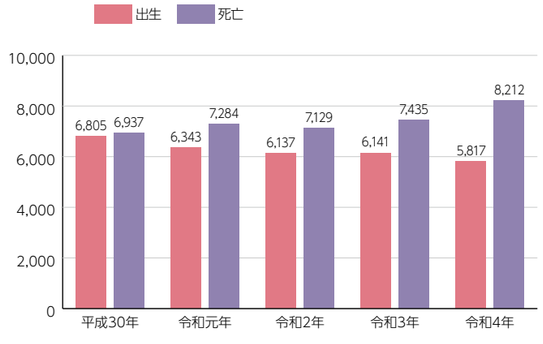
●世帯数・人口の推移

年　次	世帯数	人口			1世帯当たり人員	備考
		合計	男	女		
明治22年	11,797	42,725	…	…	3.6	市制施行 4月1日現在
大正9年	13,787	70,388	36,661	33,727	5.1	第1回国勢調査
昭和元年	27,157	150,075	75,680	74,395	5.5	
5年	32,418	164,460	81,957	82,503	5.1	
10年	38,336	214,270	105,480	108,790	5.6	12月31日現在の現住戸数・現住人口
15年	39,813	243,574	116,838	126,736	6.1	12月31日現在の現住戸数・現住人口
20年	37,981	180,643	84,935	95,708	4.8	11月1日現在
25年	59,853	267,506	128,067	139,439	4.5	
30年	72,008	332,493	159,500	172,993	4.6	
35年	90,949	373,922	178,014	195,908	4.1	
40年	107,634	407,052	192,538	214,514	3.8	
45年	128,559	440,020	206,854	233,166	3.4	
50年	153,540	488,166	231,188	256,978	3.2	
55年	180,239	525,662	251,011	274,651	2.9	
60年	194,486	555,719	265,037	290,682	2.9	
平成2年	211,207	579,306	275,424	303,882	2.7	
7年	246,700	650,341	310,118	340,223	2.6	
12年	260,672	662,012	314,455	347,557	2.5	
17年	270,530	669,603	316,048	353,555	2.5	
22年	302,413	734,474	344,291	390,183	2.4	
27年	315,456	740,822	348,470	392,352	2.3	
令和2年	326,920	738,865	349,115	389,750	2.3	
3年	330,000	738,185	348,660	389,525	2.2	10月1日現在の推計人口値
4年	334,137	737,850	348,641	389,209	2.2	10月1日現在の推計人口値

※明治22年は現住戸籍及び現住人口、それ以降は備考欄記載分を除き国勢調査確定値

●人口動態の推移





2 財政

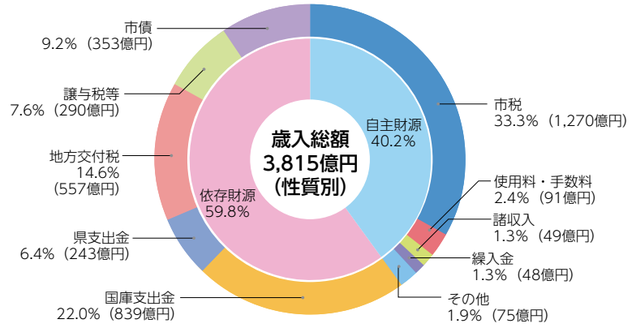
●当初予算の比較

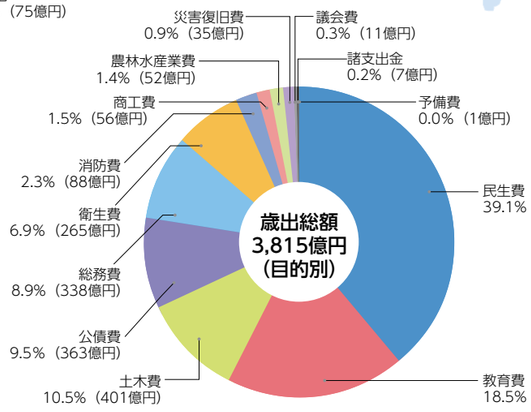
単位:億円

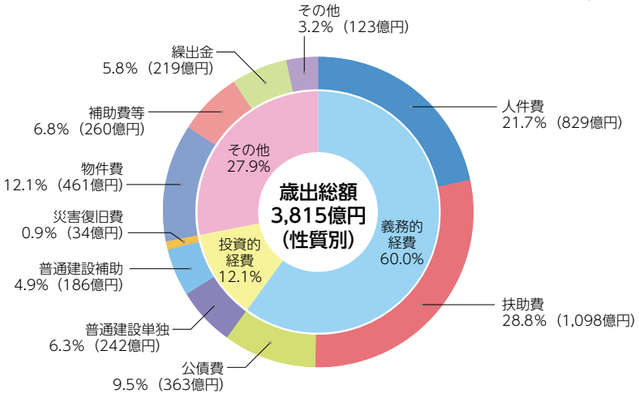
区　分	令和5年度	令和4年度	比較	伸び率
一般会計	3,815	3,791	24	0.6%
特別会計	2,322	2,264	58	2.6%
企業会計	835	862	▲ 27	▲ 3.2%
総　計	6,972	6,917	55	0.8%

資料 市財政課

●令和5年度一般会計当初予算【歳入・歳出】

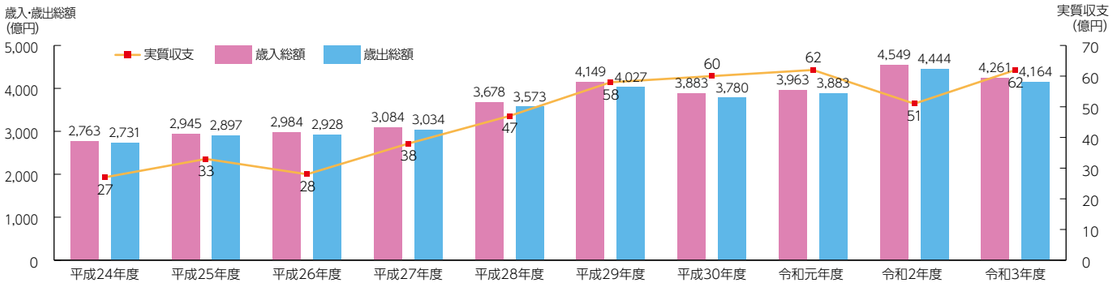






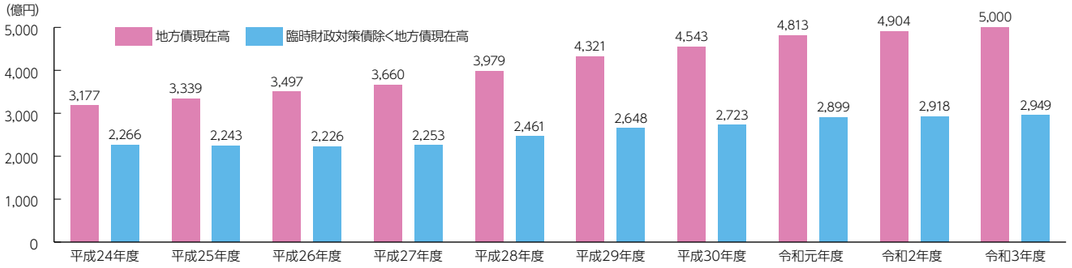
資料 市財政課

●一般会計歳入・歳出決算額の推移



資料 市財政課

●普通会計市債現在高の推移

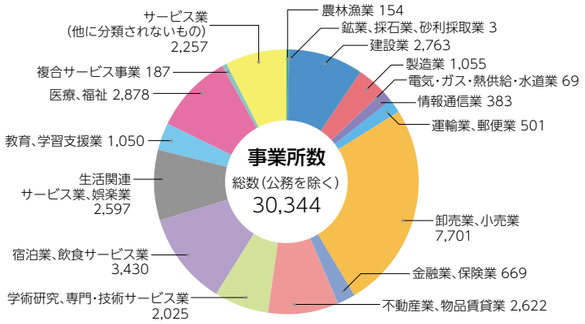


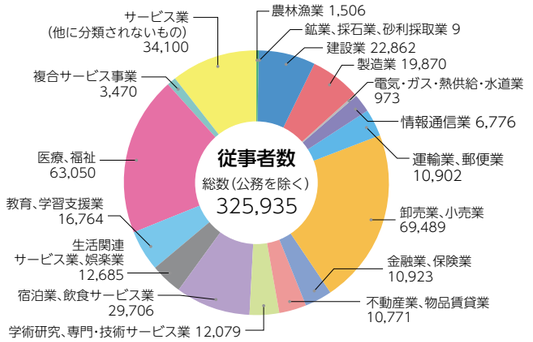
資料 市財政課

3 産業

●産業(大分類)別事業所数・従業者数(民営)

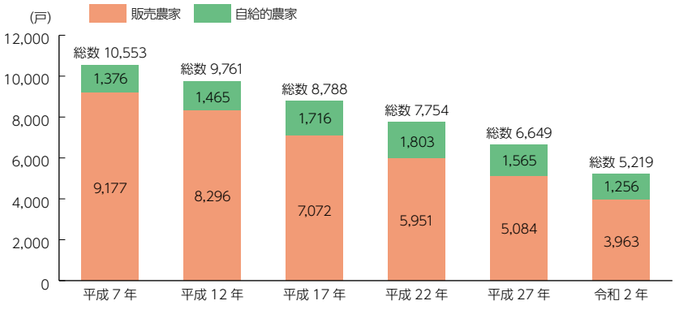
令和3年経済センサス-活動調査





●農家戸数

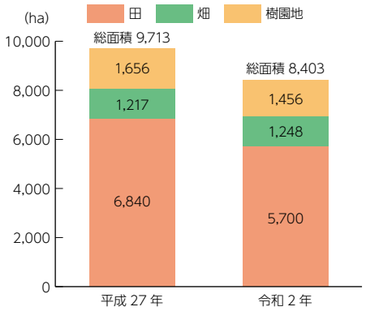
(農林業センサス)



※平成20年10月に富合町、平成22年3月に城南町、植木町との合併をそれぞれ行っている。

●経営耕地面積

(農林業センサス)



4 保健福祉

●医療施設

厚生労働省「医療施設調査」
各年10月1日現在

年次	病院									
	施設数				病床数					
	総数	精神病院	一般病院	療養病床を有する病院(再掲)	総数	精神	感染症	結核	一般	療養病床
令和元年	95	16	79	38	15,439	3,251	12	25	8,769	3,382
令和2年	95	16	79	37	14,962	3,251	8	25	8,628	3,050
令和3年	94	16	78	37	14,916	3,251	8	25	8,578	3,054

年次	一般診療所						歯科診療所		
	施設数				病床数	療養病床(再掲)	施設数		
	総数	有床	無床	療養病床を有する診療所(再掲)			総数	有床	無床
令和元年	632	117	515	13	1,783	142	405	−	405
令和2年	642	114	528	9	1,718	98	405	1	404
令和3年	648	111	537	8	1,649	81	405	1	404

※一般病床には、旧その他の病床(旧療養型病床群を除く)を含む。療養病床には、旧療養型病床群を含む。　※休止中を除く。

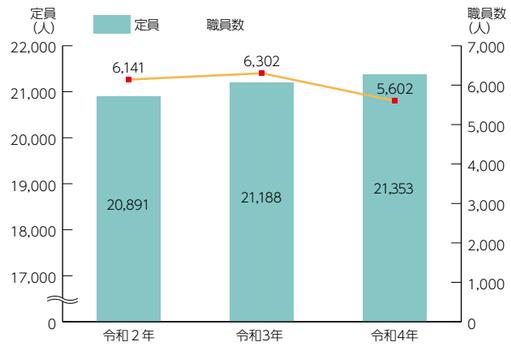
●保育所の状況

各年4月1日現在

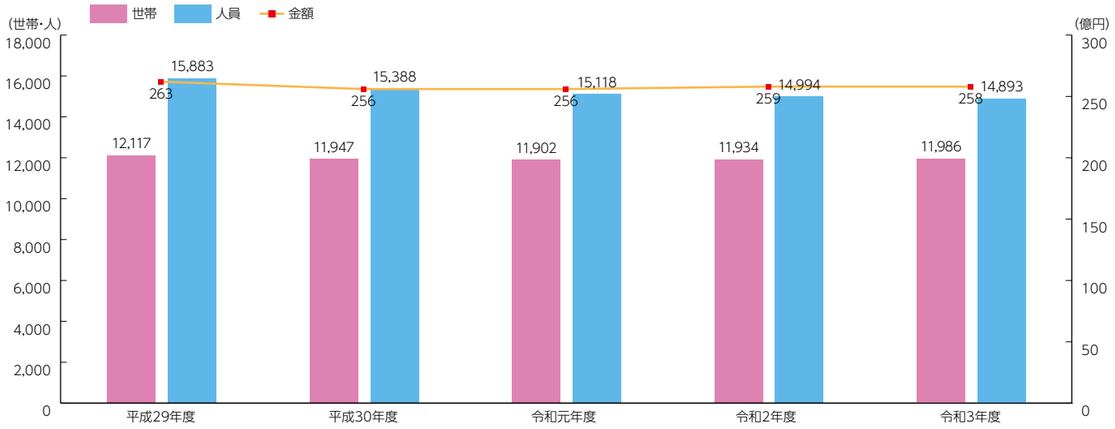
年次		保育所数	職員数	定員	年齢別入所者数						
					総数	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
令和2年		265	6,141	20,891	21,556	4,080	4,131	4,033	4,155	3,728	1,429
令和3年		266	6,302	21,188	21,348	4,150	4,062	3,984	4,112	3,648	1,392
令和4年		267	5,602	21,353	21,055	4,123	4,039	3,957	3,918	3,595	1,423
	市立	19	588	1,805	1,546	348	325	309	258	229	77
	私立	248	5,014	19,548	19,509	3,775	3,714	3,648	3,660	3,366	1,346

※職員数には再任用職員・非常勤職員を含む。
※認定こども園保育所部分、地域型保育施設(事業所内保育事業の従業員枠を除く)を含む。
※入所者数には、受託児童は含まない。
資料 市保育幼稚園課

●保育所における定員と職員数の推移



●生活保護状況



世帯及び人員は年度平均、金額は年度計を示す。
資料 市保護管理援護課

5 生活・環境

●熊本市消費者物価指数

令和2年(2020年)=100.0

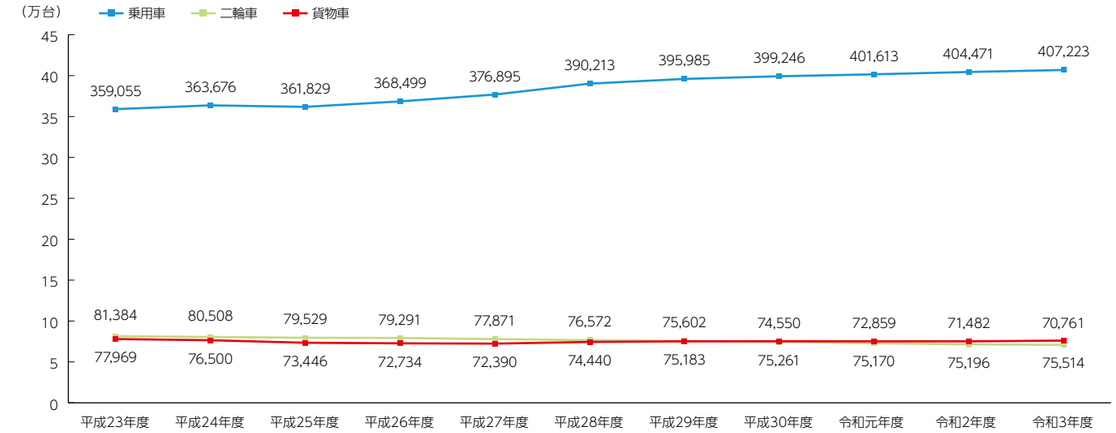
年次	総　合	食　料	住　居	整備修繕・維持	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教　育	教養娯楽	諸雑費	エネルギー	教育関係費	教養娯楽関係費	情報通信関係費
令和2年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
令和3年	99.5	99.5	102.3	108.5	100.7	100.1	98.4	100.3	94.2	99.1	101.6	101.7	104.9	99.8	101.4	78.9
令和4年	101.7	104.2	103.7	112.0	110.2	104.0	100.0	100.2	92.1	99.9	102.7	103.3	117.2	100.7	102.7	66.9

資料 総務省統計局「消費者物価指数年報」

●ごみ処理量の推移

※埋立処理量には焼却灰量は含まない。
※処理量には、大型ごみの破砕処理(金属回収)の際に飛散防止を目的として添加する水分を含む。
※令和元年度までは旧植木町、旧富合町及び旧城南町を除く。令和2年度からは旧植木町を除く。
資料 市廃棄物計画課

●車種別自動車登録台数(各年度末現在)



資料 九州運輸局熊本運輸支局・市市民税課

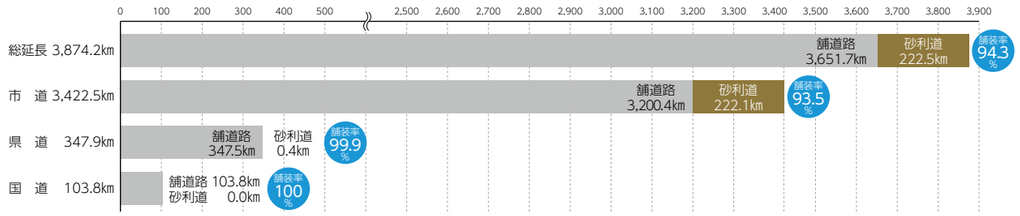
●熊本市電の乗車人員の推移

単位:千人

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
11,093	11,080	11,008	6,735	7,345

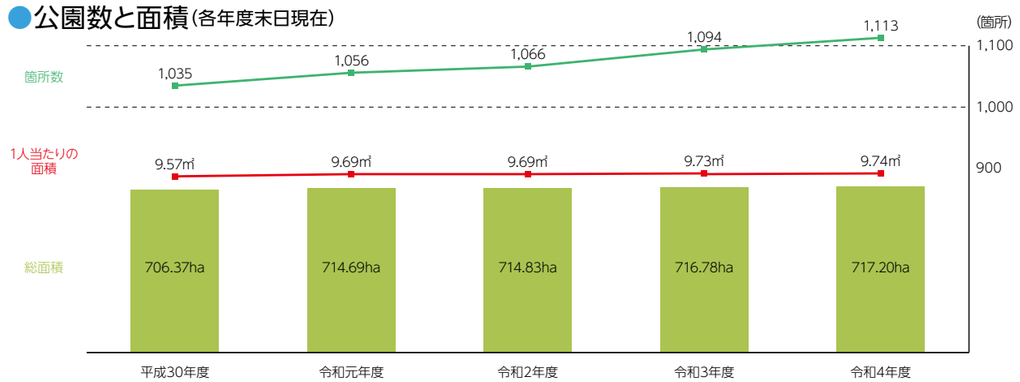
資料 市交通局

●道路の状況(令和3年度末現在)



※国道の数値は国土交通省が管理する区間を含む。
資料 市土木総務課

●公園数と面積(各年度末日現在)



※まちの広場は総数に含まない。
資料 市みどり公園課

●下水道施設及び普及状況

単位:ha

年度	市域面積 (ha)	処理区域面積 (ha)	処理区域内人口 (A)	普及率(%) (A)/住基人口	処理下水量 (㎥)	水洗化戸数
令和元年度	39,032	11,894	657,885	89.9	79,035,094	269,251
令和2年度	39,032	12,028	660,810	90.3	79,710,141	273,899
令和3年度	39,032	12,168	660,768	90.5	78,327,563	278,558

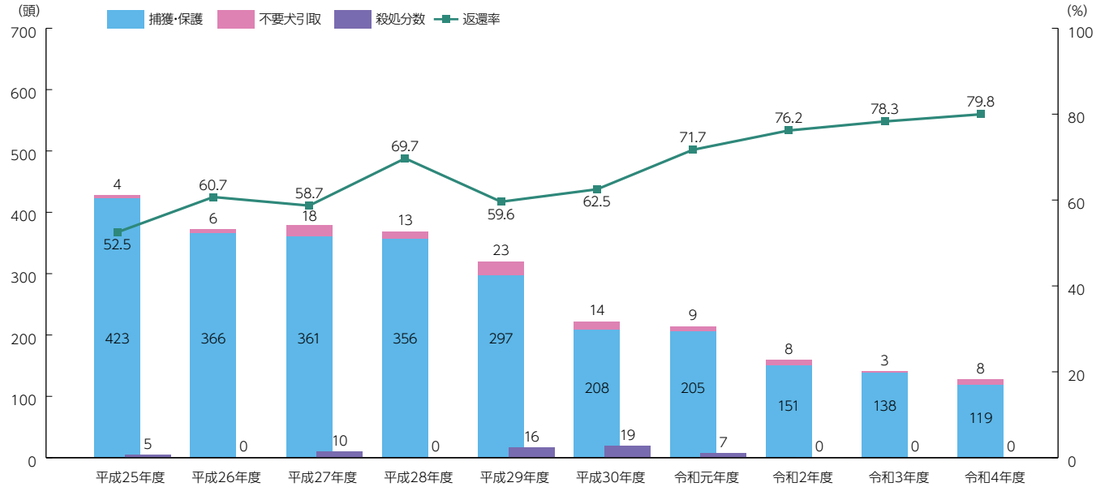
資料 市上下水道局　　各年度末日現在

●上水道事業の概要

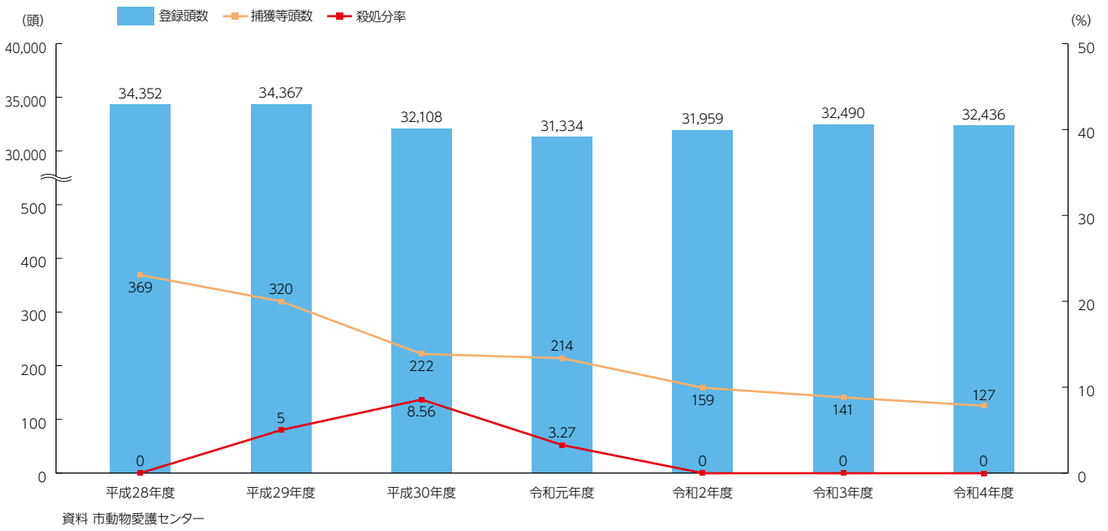
年度	給水世帯 (世帯)	計画給水人口 (人)	給水区域内人口 (人)	給水人口 (人)	給水普及率 (%)	配水量			年間有収水量 (1000㎥)	有収率 (%)	水源地 (箇所)
						年間(1000㎥)	1日最大(1000㎥)	1日最小(1000㎥)			
令和元年度	313,528	719,000	737,598	706,963	95.9	79,710	232	190	70,161	88.0	38
令和2年度	317,635	719,000	737,490	708,616	96.1	79,212	241	189	71,006	89.6	38
令和3年度	316,809	719,000	736,329	709,583	96.4	78,607	232	190	70,267	89.4	38

資料 市上下水道局　　各年度末日現在

●犬の収容状況の推移



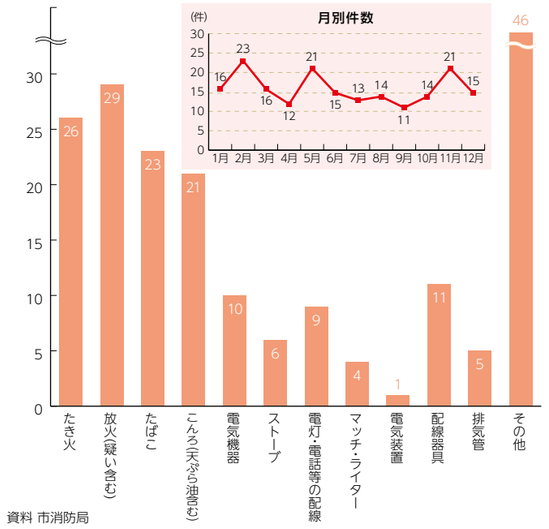
●犬の登録・捕獲及び処分等頭数



資料 市動物愛護センター

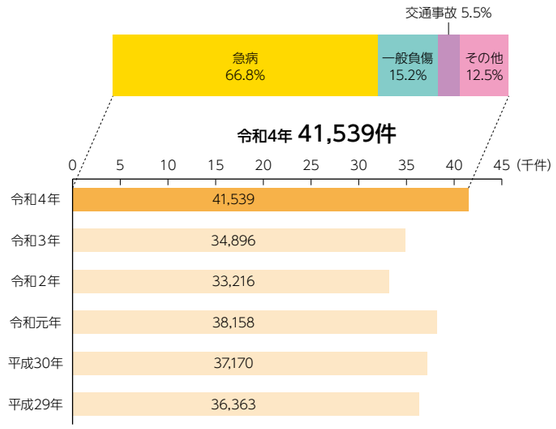
6 安心・安全

●火災発生件数(令和4年)



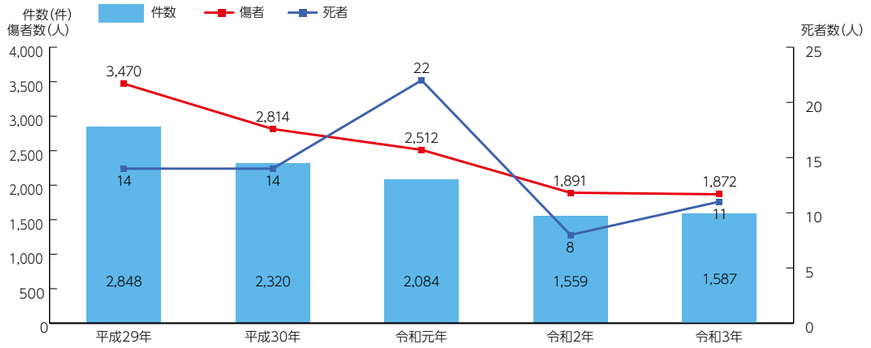
資料 市消防局

●救急車出動件数



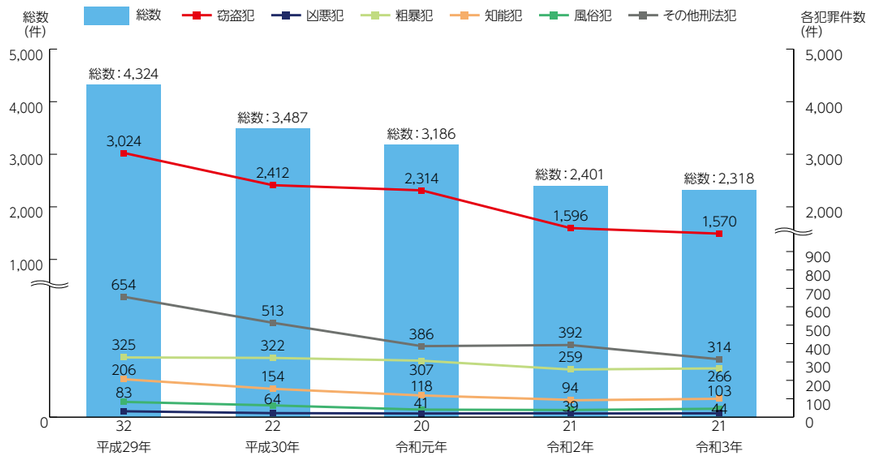
資料 市消防局

●交通事故の状況



資料 熊本県警察本部

●刑法犯罪認知件数



資料 熊本県警察本部
熊本中央署、南署及び東署管内の合計

7 教育・文化・観光

●学校(園)数及の推移

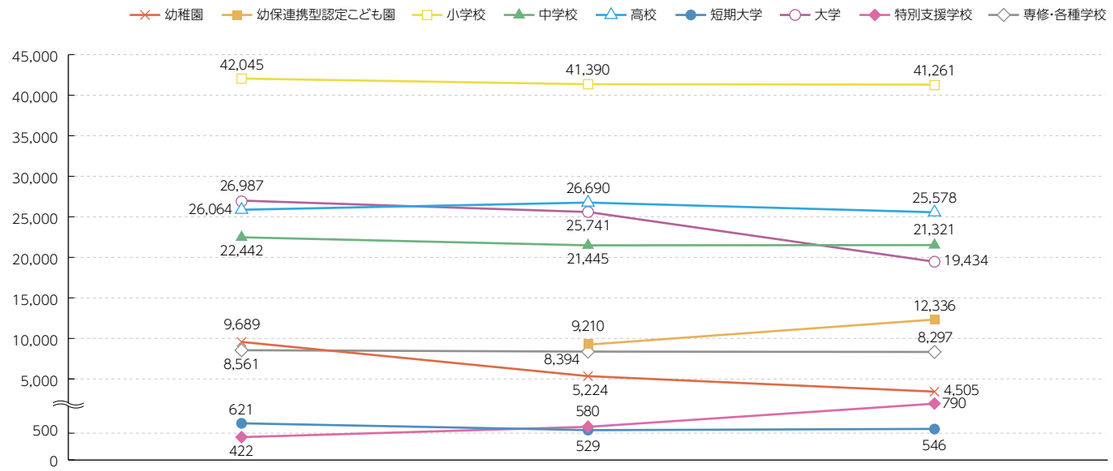
各年5月1日現在

年次	幼稚園	幼保連携型認定こども園	小学校	中学校	高校	短期大学	大学	特別支援学校	専修・各種学校
平成24年	58	—	94	53	27	1	8	4	39
平成29年	37	54	94	53	27	1	8	6	41
令和４年	37	84	93	52	27	1	8	8	38

資料 学校基本調査

●児童生徒(園児)数の推移

各年5月1日現在



資料 学校基本調査

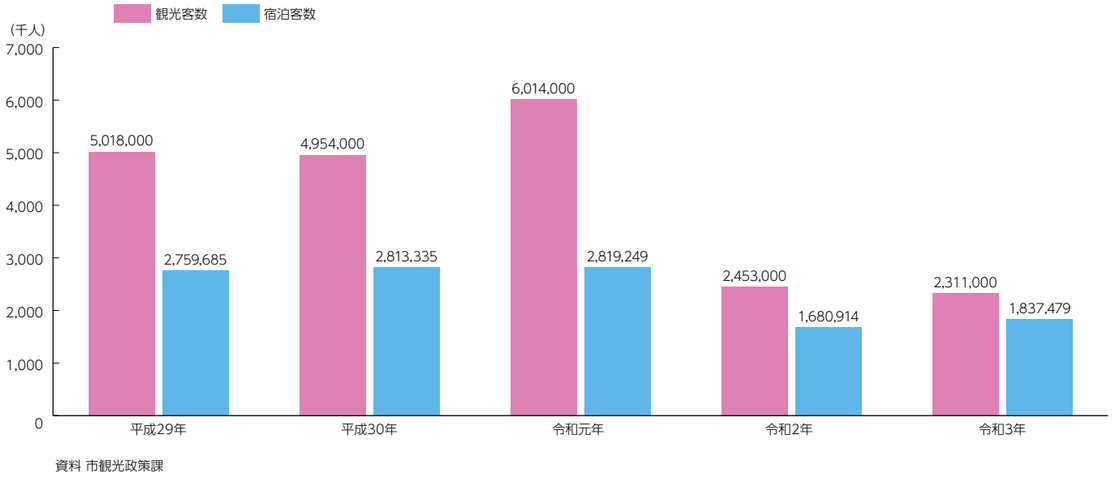
●市立図書館蔵書冊数

単位:冊

年　度	総　数	総　記	哲　学	歴　史(地　理)	社会科学	自然科学	技　術(家政学)	産　業	芸　術	語　学	文　学	小　説	絵　本
令和3年度	1,636,170	38,904	62,893	121,487	197,684	126,179	130,917	55,002	125,156	27,696	229,307	290,470	186,326

※総数と各分野総数が一致しないのは、紙芝居5,155冊とコミック5,194冊、その他20,159冊、視聴覚13,641点が含まれていないため。
資料 市立図書館

●観光客数(推計)



資料 市観光政策課

8 市民のくらし

世帯人口
1世帯当り **2.2**人

令和5年4月1日

人口密度
1k㎡に **1,886**人

令和5年4月1日

乗用自動車
1世帯に **1.2**台

令和3年度末

出生
1日につき **15.9**人

令和4年

死亡
1日につき **22.5**人

令和4年

転入
1日につき **115.3**人

令和4年

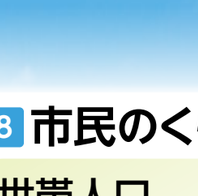
転出
1日につき **109.4**人

令和4年

結婚
1日につき **9.6**組

令和4年

離婚
1日につき **3.3**組



令和4年

犯罪
1日につき **6.4**件

令和3年

火災
1日に **0.5**件

令和4年

交通事故
1日に **4.3**件

令和3年

酒
1人1日 **0.03**リットル

令和3年度

市職員
市民**74**人に **1**人
(教員及び消防職員も含む)

令和4年4月1日

消防職員
市民**915**人に**1**人

令和4年4月1日

水道使用量
1日1人当たり **226**リットル

令和3年度

ごみ収集量
1日に **701.1**トン

令和3年度

市税
市民1人当たり **163,482**円

令和3年度

市の予算
市民1人当たり **518,170**円

令和5年度当初予算額

9 日本一住みやすいまちを目指して（政令指定都市比較）

(km²)

順位	市域面積	
1	浜 松 市	1,558.06
2	静 岡 市	1,411.93
3	札 幌 市	1,121.26
4	広 島 市	906.69
5	京 都 市	827.83
6	岡 山 市	789.95
7	仙 台 市	786.35
8	新 潟 市	726.28
9	神 戸 市	557.05
10	北九州市	492.50
11	横 浜 市	438.01
12	熊 本 市	390.32
13	福 岡 市	343.47
14	相模原市	328.91
15	名古屋市	326.50
16	千 葉 市	271.76
17	大 阪 市	225.33
18	さいたま市	217.43
19	堺 市	149.83
20	川 崎 市	142.96

令和５年１月１日

(世帯)

順位	世 帯	
1	横 浜 市	1,790,597
2	大 阪 市	1,516,586
3	名古屋市	1,147,600
4	札 幌 市	990,375
5	福 岡 市	862,548
6	川 崎 市	767,704
7	神 戸 市	742,776
8	京 都 市	740,243
9	さいたま市	605,351
10	広 島 市	561,190
11	仙 台 市	540,158
12	千 葉 市	462,444
13	北九州市	437,062
14	堺 市	370,239
15	新 潟 市	347,756
16	相模原市	342,866
17	岡 山 市	338,076
18	熊 本 市	335,386
19	浜 松 市	328,539
20	静 岡 市	300,654

令和５年４月１日

(人)

順位	人 口	
1	横 浜 市	3,768,664
2	大 阪 市	2,760,091
3	名古屋市	2,319,928
4	札 幌 市	1,969,004
5	福 岡 市	1,633,502
6	川 崎 市	1,541,640
7	神 戸 市	1,501,678
8	京 都 市	1,442,411
9	さいたま市	1,341,939
10	広 島 市	1,187,363
11	仙 台 市	1,094,520
12	千 葉 市	978,064
13	北九州市	917,524
14	堺 市	813,153
15	浜 松 市	780,538
16	新 潟 市	774,383
17	熊 本 市	736,245
18	相模原市	724,724
19	岡 山 市	716,253
20	静 岡 市	679,107

令和５年４月１日

(所)

順位	事業所数	
1	大 阪 市	177,184
2	名古屋市	117,344
3	横 浜 市	116,479
4	福 岡 市	74,867
5	札 幌 市	72,730
6	京 都 市	69,670
7	神 戸 市	62,228
8	広 島 市	52,401
9	仙 台 市	47,321
10	川 崎 市	41,223
11	さいたま市	40,233
12	北九州市	39,995
13	浜 松 市	33,755
14	静 岡 市	33,514
15	新 潟 市	32,995
16	岡 山 市	32,683
17	熊 本 市	30,344
18	千 葉 市	27,826
19	堺 市	27,315
20	相模原市	21,586

令和３年経済センサス－活動調査

(人)

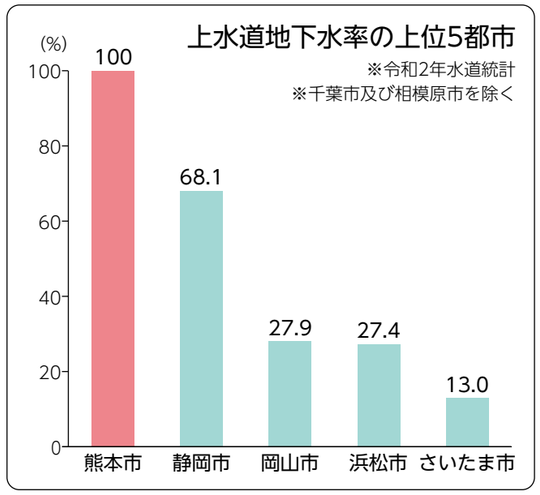
順位	従業員数	
1	大 阪 市	2,308,581
2	横 浜 市	1,527,783
3	名古屋市	1,450,337
4	福 岡 市	923,521
5	札 幌 市	872,779
6	京 都 市	746,275
7	神 戸 市	725,828
8	広 島 市	593,108
9	仙 台 市	568,963
10	川 崎 市	547,471
11	さいたま市	517,261
12	北九州市	436,472
13	千 葉 市	411,172
14	浜 松 市	382,432
15	新 潟 市	363,605
16	岡 山 市	353,376
17	静 岡 市	346,576
18	熊 本 市	325,935
19	堺 市	320,831
20	相模原市	244,288

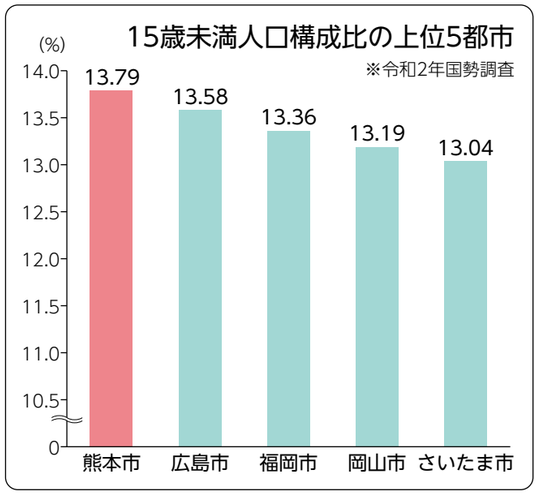
令和３年経済センサス－活動調査

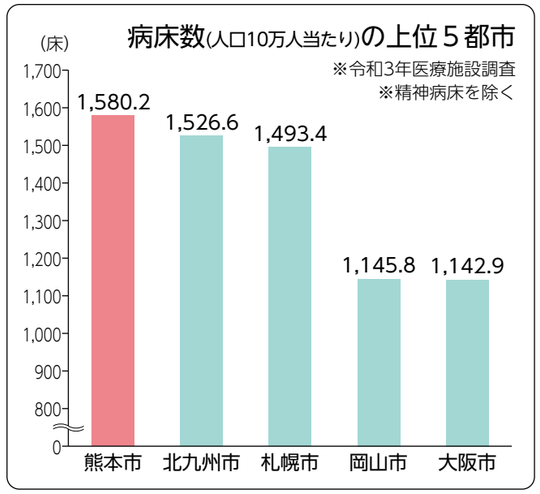
(戸)

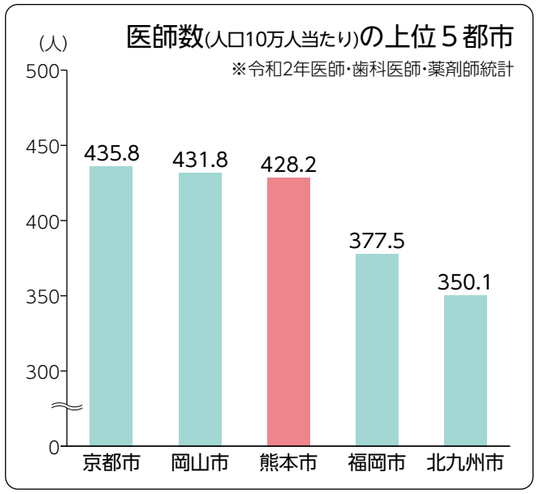
順位	着工新設住宅戸数	
1	大 阪 市	32,886
2	横 浜 市	26,391
3	名古屋市	25,345
4	福 岡 市	17,005
5	札 幌 市	16,071
6	さいたま市	11,867
7	川 崎 市	11,411
8	京 都 市	10,495
9	仙 台 市	9,754
10	広 島 市	8,649
11	神 戸 市	8,105
12	千 葉 市	7,559
13	熊 本 市	7,013
14	北九州市	6,308
15	新 潟 市	5,084
16	岡 山 市	4,902
17	浜 松 市	4,858
18	静 岡 市	4,597
19	堺 市	4,403
20	相模原市	4,151

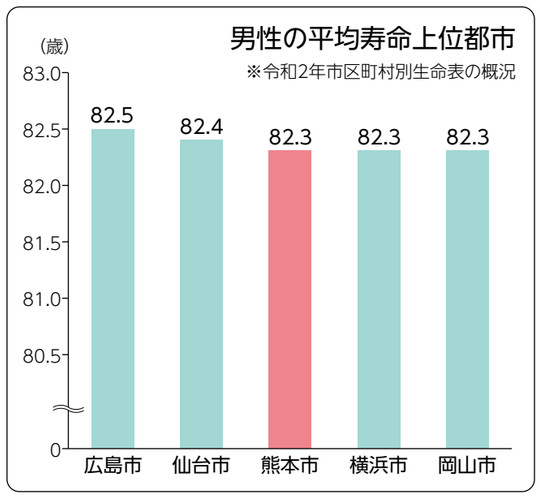
令和3年建築着工統計調査

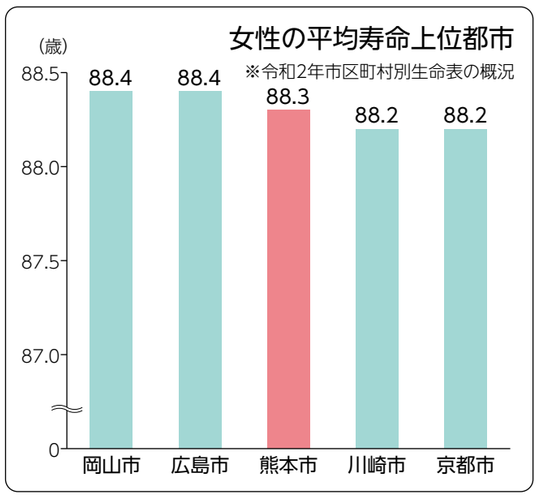












10 日本一住みやすいまちを目指して（九州山口各県庁所在地比較）

(km²)

順位	市域面積	
1	山口市	1,023.23
2	宮崎市	643.57
3	鹿児島市	547.61
4	大分市	502.39
5	佐賀市	431.82
6	長崎市	405.86
7	熊本市	390.32
8	福岡市	343.47
9	那覇市	41.42

令和５年１月１日

(世帯)

順位	世帯	
1	福岡市	862,548
2	熊本市	335,386
3	鹿児島市	283,672
4	大分市	214,079
5	宮崎市	186,949
6	長崎市	185,952
7	那覇市	147,085
8	佐賀市	97,531
9	山口市	90,526

令和５年４月１日

(人)

順位	人口	
1	福岡市	1,633,502
2	熊本市	736,245
3	鹿児島市	587,699
4	大分市	472,083
5	宮崎市	397,447
6	長崎市	395,591
7	那覇市	312,507
8	佐賀市	229,770
9	山口市	187,674

令和５年４月１日

(所)

順位	事業所数	
1	福岡市	74,867
2	熊本市	30,344
3	鹿児島市	26,595
4	大分市	19,279
5	長崎市	17,693
6	宮崎市	17,594
7	那覇市	16,770
8	佐賀市	11,487
9	山口市	8,125

令和３年経済センサス－活動調査

(人)

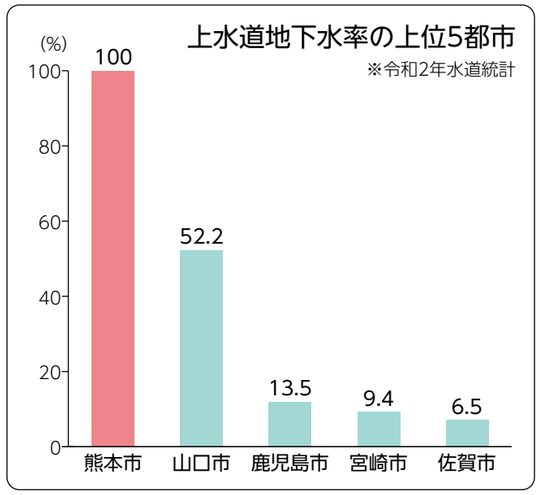
順位	従業員数	
1	福岡市	923,521
2	熊本市	325,935
3	鹿児島市	274,681
4	大分市	214,332
5	長崎市	180,782
6	宮崎市	177,165
7	那覇市	161,824
8	佐賀市	116,964
9	山口市	90,117

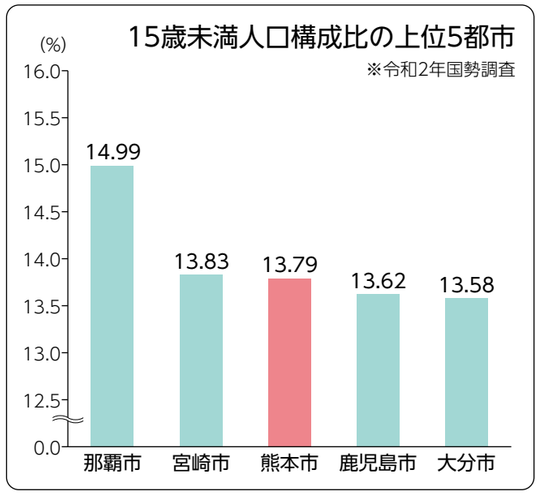
令和３年経済センサス－活動調査

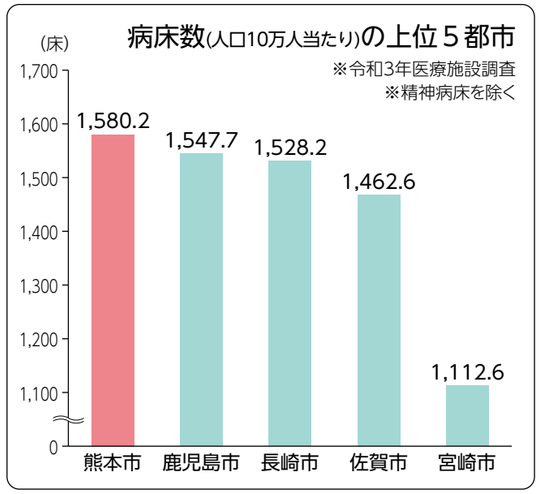
(戸)

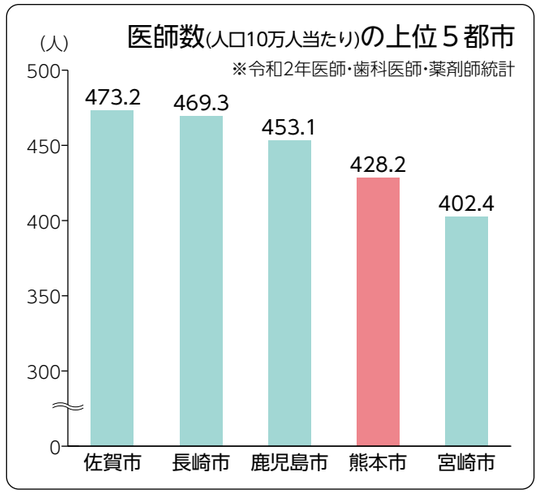
順位	着工新設住宅戸数	
1	福岡市	17,005
2	熊本市	7,013
3	鹿児島市	4,970
4	宮崎市	3,350
5	大分市	2,985
6	那覇市	1,855
7	長崎市	1,817
8	佐賀市	1,550
9	山口市	1,150

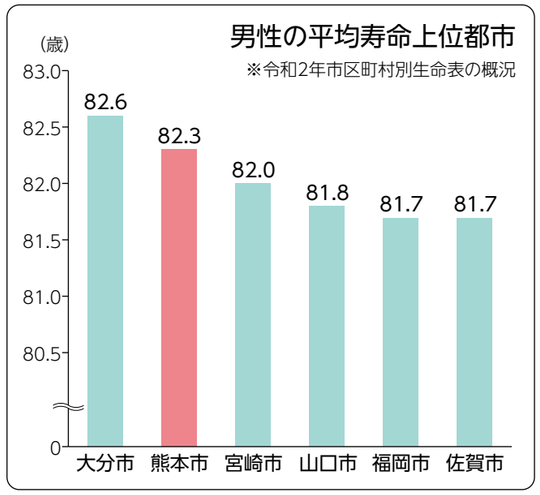
令和３年建築着工統計調査

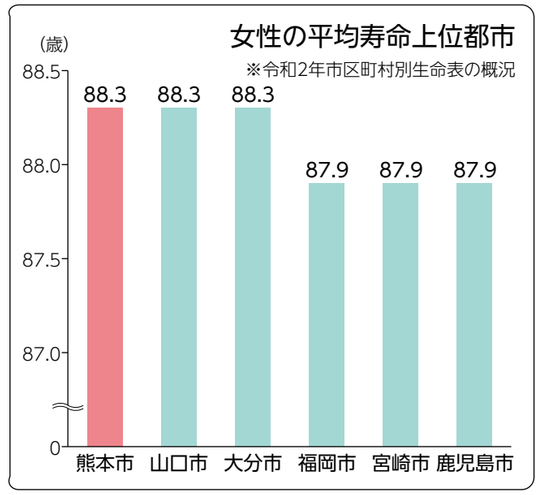












11 主要観光地・施設等

①熊本城

⑥熊本市現代美術館

②桜の馬場　城彩苑

⑦熊本市熊本博物館

⑧旧細川刑部邸(休館中)

⑩小泉八雲熊本旧居

⑪夏目漱石内坪井旧居

⑮神風連資料館

⑱水前寺成趣園

㉒水前寺江津湖公園

名　称	所在地
中央区	
① 熊本城	本丸
② 桜の馬場　城彩苑	二の丸
③ 熊本県立美術館(本館)	二の丸
④ 熊本県立美術館(分館)	千葉城町
⑤ 熊本県伝統工芸館	千葉城町
⑥ 熊本市現代美術館	上通町
⑦ 熊本市熊本博物館	古京町
⑧ 旧細川刑部邸	古京町
⑨ 監物台樹木園	二の丸
⑩ 小泉八雲熊本旧居	安政町
⑪ 夏目漱石内坪井旧居	内坪井町
⑫ 徳富記念園	大江4丁目
⑬ 五高記念館	黒髪2丁目
⑭ リデル、ライト両女史記念館	黒髪5丁目
⑮ 神風連資料館	黒髪5丁目
⑯ 立田自然公園	黒髪4丁目
⑰ 後藤是山記念館	水前寺2丁目
⑱ 水前寺成趣園	水前寺公園
⑲ 熊本洋学校教師ジェーンズ邸	水前寺公園
⑳ 夏目漱石大江旧居	水前寺公園
㉑ くまもと文学・歴史館	出水2丁目
㉒ 水前寺江津湖公園	出水2丁目 神水本町他
㉓ 北岡自然公園	横手2丁目
北　区	
㉔ 武蔵塚公園	龍田弓削1丁目
㉕ 熊本国際民藝館	龍田1丁目
㉖ 熊本市水の科学館	八景水谷1丁目
㉗ 御馬下の角小屋	四方寄町
㉘ フードパル熊本	貢町
㉙ 植木温泉	植木町米塚
㉚ 宮原温泉	植木町宮原
㉛ 種田山頭火・味取観音堂	植木町味取
㉜ 熊本市田原坂西南戦争資料館	植木町豊岡
㉝ 豊岡の眼鏡橋	植木町豊岡
㉞ 小野泉水公園	植木町小野
西　区	
㉟ 本妙寺	花園4丁目
㊱ お手水の森	花園7丁目
㊲ 島田美術館	島崎4丁目
㊳ 釣耕園	島崎5丁目
㊴ 叢桂園	島崎4丁目
㊵ 霊巌洞・五百羅漢(雲巌禅寺)	松尾町平山
㊶ 峠の茶屋公園	河内町岳
㊷ 金峰森の駅 みちくさ館	河内町岳
㊸ 池辺寺跡	池上町
東　区	
㊹ 熊本市動植物園	健軍5丁目
㊺ 横井小楠記念館	沼山津1丁目
南　区	
㊻ くまもと工芸会館	川尻1丁目
㊼ 雁回山長寿寺 木原不動尊	富合町木原
㊽ 六殿神社	富合町木原
㊾ 雁回山自然公園	富合町木原
㊿ 熊本市塚原歴史民俗資料館	城南町塚原
51 塚原古墳公園	城南町塚原

資料 市観光政策課

北　区

㉖熊本市水の科学館

㉗御馬下の角小屋

㉘フードパル熊本

㉙植木温泉

㉛種田山頭火・味取観音堂

㉜熊本市田原坂西南戦争資料館

西　区

㉟本妙寺

㊲島田美術館

㊵霊巌洞・五百羅漢(雲巌禅寺)

㊶峠の茶屋公園

東　区

㊹熊本市動植物園

㊺横井小楠記念館

南　区

㊼雁回山長寿寺 木原不動尊

㊽六殿神社

㊿熊本市塚原歴史民俗資料館

51塚原古墳公園

12 熊本市のあゆみ

西暦	和暦	熊本市の動き	世の中の動き
	明治		
1870	3年	細川護久熊本藩知事となる	
		古城に医学校開校	
1871	4年	廃藩置県により熊本藩は熊本県となる	
		鎮西鎮台（九州及び中国西部を管轄）が設置	
		熊本洋学校開校	太陽暦を採用
1872	5年	熊本県を白川県と改称	
		明治天皇の熊本行幸	
			1876　白川県を熊本県と改称
1877	10年	西南戦争	
		（市街地の大半が兵火により焼失、熊本城天守閣炎上）	
1887	20年	第五高等中学校（九州に1校）の設置	東京電灯会社初めて点灯
1888	21年	熊本鎮台　第六師団と改称	
1889	22年	市町村制が施行され熊本市誕生	大日本帝国憲法の公布
		第一回熊本市会議員選挙	
		現在の白川公園前に市役所開庁	
		明治熊本地震発生	
1891	24年	高瀬・熊本市春日間の九州鉄道が開通	大津事件
		熊本電燈会社が開業し九州に初めて電燈がともる	
		ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）第五高等中学校に着任	
1892	25年	塘林虎五郎が貧児寮（大江学園）を設立	
1893	26年	内村鑑三、熊本英学校教師として着任	
1894	27年	第五高等中学校は第五高等学校と改称	日清戦争始まる
1895	28年	ハンナ・リデル女史が回春病院設立	
1896	29年	夏目漱石が第五高等学校に着任	
1898	31年	ジョン・メリー・コール神父がらい救済の待労院設立	
		市立熊本伝染病院落成	
1900	33年	白川大水害、明午・安巳・長六橋流失	治安警察法公布
1901	34年	熊本電話交換局船場町に開設　電話交換業務開始	
		第1回熊本市統計書を発行	
			1904　日露戦争始まる
1906	39年	第五高等学校工学部が独立し、熊本高等工業学校と改称	
1907	40年	安巳橋・水前寺間に軽便鉄道開業	
1909	42年	九州縦貫の幹線鉄道（鹿児島線、門司・鹿児島間）実現	
1911	44年	市立実科高等女学校開校	
		菊池軌道株式会社が上熊本・広町間開業	
			1912　ストックホルム五輪に日本初参加
	大正		
1912	元年	熊本軌道が楯崎・百貫石間開通	
1913	2年	熊本市初の工業統計調査を実施	
		肥後相撲館開館	
			1914　第一次世界大戦
			1918　スペイン風邪が流行
1920	9年	第1回国勢調査　市人口70,338人、戸数13,817戸	国際連盟発足
1921	10年	大熊本市誕生（11カ町村合併：黒髪・池田・花園・島崎・横手・春日・古町・本荘・春竹・大江・本山）	
1922	11年	市立実科高等女学校が市立高等女学校と改称	

第五高等中学校

旧熊本駅

軽便鉄道

西暦	和暦	熊本市の動き	世の中の動き
1923	12年	手取本町に市役所新庁舎落成	関東大震災
1924	13年	市営電車開通（開通に伴い大甲橋を架設） 市上水道通水開始 歩兵第二十三連隊の留守隊、渡鹿に移転	｝市三大事業
1925	14年	市三大事業記念国産共進会開催（入場者133万人）	
		飽託郡出水村が市と合併	
	昭和		
1927	2年	長六橋開通	国有鉄道鹿児島本線全通
		市営乗合自動車（市営バス）が7台で営業を開始	
1928	3年	熊本放送局JOGK開局（ラジオ初放送）	
		水前寺公設グラウンド開場（陸上競技場・野球場）	
1929	4年	熊本動物園が水前寺公園内に開園	世界恐慌始まる
1930	5年	熊本市歌を制定	
		花畑町に市勧業館が落成、開館	
		市公会堂新館が落成	
1931	6年	白坪村を市に編入	満州事変始まる
1932	7年	飽託郡画図村が市と合併、画図町となる	
1933	8年	熊本城宇土櫓国宝に指定	日本、国際連盟脱退
1935	10年	新興熊本大博覧会を開催	
1936	11年	飽託郡健軍村が市と合併	
			1937　ヘレン・ケラー来熊
			1937　日中戦争始まる
1939	14年	飽託郡清水村が市と合併	
1940	15年	飽託郡川尻町、日吉村、力合村を市に編入	
			1941　太平洋戦争始まる
1942	17年	九州日日新聞と九州新聞が統合され熊本日日新聞発足	
		健軍町に三菱重工業株式会社熊本航空機製作所設立	
1944	19年	市電気局が市交通局と改称	
1945	20年	アメリカ軍が熊本市を空襲（中心市街地の大半が焼失）	太平洋戦争終結
1946	21年	市立民生病院発足	日本国憲法公布
			1947　地方自治法公布
1948	23年	市消防本部設置	婦人に初の参政権
		市立母子寮を設置	大韓民国誕生
		熊本中央児童相談所が古城町に設置	
		市立高等女学校が市立女子高等学校と改称	
1949	24年	市立女子高等学校が市立高等学校と改称	
		「火の国まつり」開始	
		市立実務員養成所が西山中学校内に開校	
		市立熊本保健所を上林に新設	
		市立民生病院は市立熊本市民病院となる	
			1950　朝鮮戦争起こる
			1951　サンフランシスコ講和条約調印
1952	27年	市立博物館開館	
1953	28年	飽託郡田迎村、御幸村を市に編入	
		6.26大水害発生　白川の氾濫で熊本市中心に大被害	NHKテレビ放送開始
		飽託郡池上村、高橋村、城山村を市に編入	
		熊本初の民間放送　ラジオ熊本開局	
		市立図書館が発足	

旧市役所庁舎

長六橋

熊本動物園

市勧業館

市消防本部

熊本博物館（第1館）

6.26 熊本大水害

西暦	和暦	熊本市の動き	世の中の動き
1954	29年	上益城郡秋津村を市に編入	
		市電開通30年記念「熊本交通観光大博覧会」開催	
1955	30年	飽託郡松尾村を市に編入	
1956	31年	託麻村の保田窪、新南部と合併	日ソ国交回復
1957	32年	市立高等学校に商業科を併設	5000円札、100円硬貨の発行
		飽託郡小島町、龍田村を市に編入	東京都市圏人口が世界一に
		7.26大水害発生　井芹川・坪井川氾濫　金峰山周辺で山津波	
1958	33年	飽託郡中島村を市に編入	1万円札発行、国民皆保険と拠出制国民年金が発足
		小島下町、沖新地先と合併	阿蘇山噴火
1959	34年	市立高等学校商業科が分離独立し、市立商業高等学校となる	
		市立実務員養成所が市立実務商業学校と改称	
1960	35年	健軍町に熊本空港開港	NHKカラーテレビ放送熊本で開始
		「愛市憲章」を制定	
		熊本城天守閣再建、落成	
		第15回国体夏季大会を開催	
1962	37年	天守閣再建記念「躍進熊本大博覧会くまもと博」開催	
1964	39年	市第一次総合計画策定	東京オリンピック開催
1965	40年	市内の全小学校にプール完成	
1967	42年	県庁が桜町から水前寺に移転	
1968	43年	市民会館開館	
1969	44年	熊本交通センター開所	
		江津湖畔に水辺動物園が開園、熊本動物大博覧会を開催	
		「熊本市章」決まる	
1970	45年	飽託郡託麻村を市に編入	大阪で日本万国博覧会開催
1971	46年	勤労青少年ホームが新屋敷に落成	
		新熊本空港が高遊原に開港	
		九州縦貫自動車道（熊本ー植木間）開通	
1972	47年	市議会が「森の都宣言」決議	沖縄返還協定調印
			札幌で冬季オリンピック開催
1974	49年	市の木に「イチョウ」、市の花に「肥後ツバキ」を制定	
1975	50年	金峰山少年自然の家が開所	
1976	51年	市議会が「地下水保全都市宣言」決議	
1977	52年	人口が50万人を突破	
1978	53年	新しい熊本博物館が開館	
1979	54年	新しい市民病院を開設	
		市立実務商業学校が市立実務商業専門学校と改称	
		市が「健康都市」宣言	
		中国・桂林市と友好都市提携締結	
1980	55年	水害で約16,900人の市民が罹災	
1981	56年	産業文化会館が開館	
		新市庁舎建設完成	
1982	57年	北部保健センター開所、横井小楠記念館開所、四時軒復元（横井小楠家塾）	
		市立図書館が完成	
1984	59年	市の鳥として「シジュウカラ」を制定	
1986	61年	総合体育館、青年会館開館	ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故
1987	62年	米国・サンアントニオ市と姉妹都市提携締結	

熊本城

新市庁舎

西暦	和暦	熊本市の動き	世の中の動き
	平成		
1989	元年	市制施行100周年記念行事「熊本百彩」開催	消費税制度スタート
		流通情報会館開館	ベルリンの壁崩壊
1990	2年	「総合婦人会館・カルチャーセンター」開館	
		「水資源国際会議」を開催	
		「市民長寿社会憲章」を制定	
		「水の科学館」開館	
1991	3年	熊本市と飽託郡４町（北部・河内・飽田・天明）が合併	台風 19 号による大災害
		熊本市立実務商業専門学校が市立総合ビジネス専門学校と改称し、移転	
		南部総合スポーツセンター開館	
		水辺動物園と都市緑化植物園が一体化　動植物園として開園	
1992	4年	独国・ハイデルベルク市との友好都市締結	日本人初の宇宙飛行士、毛利 衛 アメリカ、スペースシャトル・エンデバーで宇宙へ
1993	5年	上級武家屋敷・旧細川刑部邸移築・復元	
		「火の国フェスタ・くまもと '93」が開幕	
		93ゆうあいピック熊本大会開催	
1994	6年	国際交流会館開館	日本人宇宙飛行士、向井千秋 アメリカ、スペースシャトル・コロンビアで宇宙へ
		「市民こども憲章」制定	
		福井市と姉妹都市締結	
1995	7年	子ども文化会館開館、健軍文化ホール開館	阪神・淡路大震災
		ローム市（アメリカ）と姉妹都市締結	
		環境総合センター完成	
		市が「平和都市」宣言（戦後 50 年）	地下鉄猛毒サリンガス事件
		市が「環境保全都市」宣言	
1996	8年	中核市に移行	
		熊本市優待証（さくらカード）運用開始	
		第1回くまもとお城まつり開幕	
1997	9年	97男子世界ハンドボール選手権大会開催	
		国内初の超低床電車運行開始	
1998	10年	熊本城復元基金制度が発足	長野オリンピック開催
		市総合屋内プール「アクアドームくまもと」完成	
		「中核市サミット '98in 熊本」開催	
1999	11年	市議会が「スポーツ都市宣言」決議	情報公開法成立
		第54回国体「くまもと未来国体」開催	
		第35回全国身体障害者スポーツ大会「ハートフルくまもと大会」開催	
		第20回記念国際・全国マスターズ陸上競技選手権熊本県大会を開催	
2000	12年	市立商業高等学校が市立千原台高等学校と改称	
2001	13年	市立高等学校が市立必由館高等学校と改称	
		「ひのくに新世紀総体」開催	アメリカ同時多発テロ事件
2002	14年	市現代美術館開館	
		国際環境都市会議くまもと2002開催	
2003	15年	託麻スポーツセンター体育館開館	イラク戦争勃発
		市議会が「観光立市くまもと」都市宣言決議	個人情報保護法成立
		アジア太平洋都市サミット第５回実務者会議開催	

市制100周年

飽託4町合併

熊本市動植物園

熊本国体

西暦	和暦	熊本市の動き	世の中の動き
2004	16年	市政情報プラザ開設	
		個人情報の保護に関する条例施行	
			2005　尼崎市で JR 福知山線脱線事故
2006	18年	「熊本都市圏及び政令指定都市についての研究会」設置	
		世界女性スポーツ会議くまもと開催	
		熊本オフィシャルウォーター「熊本水物語」を発表	
2007	19年	熊本城築城400年	
		熊本市中心市街地活性化基本計画認定	
2008	20年	「ウェルパルくまもと」開館	
		熊本城本丸御殿復元完了	
		日本水大賞グランプリを受賞	
		熊本市と富合町が合併	
2009	21年	熊本城復元募金新「一口城主制度」が始まる	裁判員制度始まる
		家庭ごみの有料化開始	
		「わくわく都市くまもと」宣言	
2010	22年	熊本市と城南町、植木町が合併	九州南部で口蹄疫の感染広がる
		大韓民国蔚山広域市友好協力都市協定締結	
2011	23年	九州新幹線全線開業	東日本大震災、福島第一原子力発電所事故
		「桜の馬場城彩苑」開館	
		「くまもと森都心プラザ」開館	
2012	24年	熊本上海事務所開設	九州北部豪雨
		第 1 回熊本城マラソン開催	
		政令指定都市となる	
2013	25年	仏・エクサンプロヴァンス市交流都市協定締結	
		国連“生命の水”(Water for life) 最優秀賞受賞	
		中国・蘇州国家高新区交流都市協定締結	
		台湾・高雄市国際交流促進覚書締結	
		アジア太平洋都市サミット開催	
		全国豊かな海づくり大会開催	
2014	26年	新型超低床市電（COCORO）の運行開始	
2015	27年	熊本市営バス運行終了	
		海フェスタくまもと開催	
2016	28年	近隣市町村と「熊本連携中枢都市圏構想」を進めていくための連携協約を締結	マイナンバー制度　運用開始
			改正公職選挙法が施行 選挙権年齢が 18 歳以上に
		熊本地震　発生	
2018	30年	大規模改装のため長期休館していた市立熊本博物館が再開	
	令和		
2019	元年	熊本市民病院の建て替え完了	ラグビーワールドカップ 2019 開催
		熊本城ホール完成	2019 女子ハンドボール世界選手権大会　開催
2020	2年	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止や、市有施設が利用休止となる	新型コロナウイルス感染症が世界中で流行
			令和 2 年 7 月豪雨　発生
			国勢調査実施 100 年目
2021	3年	熊本城天守閣の完全復旧	東京オリンピック開催
2022	4年	くまもと花博開催	
		第4回アジア・太平洋水サミット開催	

九州新幹線全線開業

政令指定都市移行記念式典

第1回熊本城マラソン開催

第33回全国豊かな海づくり大会

新型超低床市電(COCORO)の運行開始

名誉市民

※旧城南町及び植木町の名誉町民は、熊本市の名誉市民として継承されていきます。

徳富 蘇峰氏
（本名:猪一郎）
昭和30年（1955年）
1月1日顕彰

明治―昭和期の新聞人・歴史家。熊本洋学校・同志社に学び上京、帰郷して自由民権運動に参加し、大江義塾を開設。明治20年(1887年)民友社を設立し、「国民之友」を発行。明治23年(1890年)「国民新聞」を発行。「近世日本国民史」100巻を完結。生涯300冊の著作を残した。
文久3年1月25日(1863年3月14日)生まれ、昭和32年(1957年)11月2日逝去、94歳。

高橋 守雄氏
昭和30年（1955年）
1月1日顕彰

第7代熊本市長として、歩兵第23連隊の移転・市電・上水道の開設の三大事業を完遂、市の近代化、発展繁栄に尽くした。また、教育者として東洋語学専門学校校長、熊本商科大学長を歴任、郷土教育の振興育成に努力した。
明治16年(1883年)1月1日生まれ、昭和32年(1957年)5月6日逝去、74歳。

細川 護立氏
昭和35年（1960年）
4月1日顕彰

旧肥後藩主細川家16代当主。有斐学舎舎長、肥後奨学会設立、多額の奨学金を出資して本県出身者の育成援護に尽くした。国の文化財保護委員会委員として、本市の重要文化財、史跡、名勝等の保存活用に貢献した。
明治16年(1883年)10月21日生まれ、昭和45年(1970年)11月18日逝去、87歳。

福田 令寿氏
昭和35年（1960年）
4月1日顕彰

医師、教育者、社会事業家。熊本英学校で海老名弾正らに学び受洗。エジンバラ大医学部卒。産婦人科病院開業の傍ら無料診療所紫苑会治療所を創立。県医師会長、公選の県教育委員長、大江高校校長、県社会福祉協議会会長、熊本YMCA理事長、県原水禁理事長など歴任。キリスト教信仰に基づく生涯を貫いた。
明治5年(1872年)12月7日生まれ、昭和48年(1973年)8月7日逝去、100歳。

宇野 哲人氏
昭和44年（1969年）
10月1日顕彰

漢学者。東京大学名誉教授。東方文化学院院長、実践女子大学学長、東方学会会長を歴任。清国（中国）に留学して支那学を、ドイツで西洋哲学を学んだ。西洋哲学の方法を用いた中国哲学の叙述は一世を風靡した。
明治8年(1875年)11月15日生まれ、昭和49年(1974年)2月19日逝去、98歳。

堅山 南風氏
（本名:熊次）
昭和44年（1969年）
10月1日顕彰

日本画家。明治42年(1909年)、22歳のとき上京。大正２年(1913年)第7回文展に「霜月頃」が初入賞。その後、横山大観に師事した。昭和13年(1938年)、文展審査員。戦後は文化勲章受章など日本画壇の重鎮となる。代表作に日光輪王寺薬師堂天井画「鳴竜図」、熊本市民会館綴帳「火の国讃舞」などがある。
明治20年（1887年）９月12日生まれ、昭和55年(1980年)12月30日逝去、93歳。

後藤 是山氏
（本名:祐太郎）
昭和54年（1979年）
10月1日顕彰

新聞人、俳人。九州日日新聞社入社後、国民新聞社に留学、徳富蘇峰の薫陶を受けた。帰熊後九州日日新聞社の主筆、編集長として熊本の文化振興に貢献。昭和2年(1927年)、俳誌「かはがらし」(のち「東火」)を創刊主宰した。著書に「肥後の勤皇」、編書に「肥後国誌」がある。
明治19年(1886年)6月8日生まれ、昭和61年(1986年)6月4日逝去、99歳。

中村 汀女氏
（本名:破魔子）
昭和54年（1979年）
10月1日顕彰

高浜虚子の門下生で、現代女流俳句の第一人者。常にふるさとを愛する心を底流にした“汀女俳句”は、句にふれる人々に、郷土愛を喚起させ、郷土の文化振興に貢献した。「ホトトギス」同人、「風花」を創刊主宰した。
明治33年(1900年)4月11日生まれ、昭和63年(1988年)9月20日逝去、88歳。

安永 蕗子氏
平成21年（2009年）
10月1日顕彰

宮中歌会始詠進歌選者を務めるなど日本を代表する女流歌人。平成3年(1991年)には歌壇の最高賞である迢空賞を受賞。また、書家としても顕著な功績を収める。熊本県教育委員会委員長、熊本県文化協会会長などの要職を歴任、本市の教育・文化の発展に多大な功績。勲四等瑞宝章受章。くまもと県民文化賞受賞。熊本県近代文化功労者。
大正9年（1920年）2月19日生まれ、平成24年(2012年)3月17日逝去、92歳。

旧城南町

上塚 周平氏
昭和50年（1975年）
10月17日顕彰

「ブラジル移民の父」と呼ばれ、明治41年(1908年)に第1回移民船「笠戸丸」の監督としてブラジルに渡り、ブラジルにおける日系社会の確固たる基盤を築いた。
また、その功績から、ブラジルのサンパウロ州には氏の名前を付けられた道路や公園、橋があるほか、遺徳を称える記念碑なども残されている。
明治9年(1876年)7月12日生まれ、昭和10年(1935年)7月6日逝去、58歳。

上塚 司氏
昭和53年（1978年）
3月23日顕彰

大蔵大臣秘書官、大蔵政務次官、農商務大臣、商工大臣などの要職を務め、この間、アマゾン開発に全力を傾け、ブラジル移民の道を開いた。その後、日伯中央協会の理事や名誉顧問を歴任。ブラジル大統領から最高勲章を授与されるなど、日伯国交樹立等に対する功績が高く評価されている。
明治23年(1890年)5月1日生まれ、昭和53年(1978年)10月22日逝去、88歳。

林田 正治氏
昭和53年（1978年）
3月23日顕彰

台湾の台南州内務部長、澎湖庁長、新竹州知事を務めた後、衆議院議員、第16代熊本市長を経て参議院議員となり、北海道開発政務次官、地方行政委員長等を歴任。その業績は高く評価されている。
明治25年(1892年)8月3日生まれ、昭和54年(1979年)12月14日逝去、87歳。

小林 久雄氏
平成元年（1989年）
9月25日顕彰

熊本県医師会副会長、下益城郡医師会長などを歴任し、健康保険の普及等に尽力した後、旧城南町の初代町長に就任。若くから人類学、考古学に関心があり、生涯をかけて研究された資料は「小林コレクション」と呼ばれ、約２万点の遺物が塚原歴史民俗資料館に寄贈されており、国指定重要文化財の「台付舟形土器」など、一部は現在も展示されている。
明治28年（1895年）6月4日生まれ、昭和36年(1961年)8月26日逝去、66歳。

東家 嘉幸氏
平成12年（2000年）
3月22日顕彰

衆議院議員として建設政務次官や衆議院建設常任委員会委員長などの要職を歴任。平成3年(1991年)には国土庁長官に就任した。この間、国や熊本県、旧城南町の発展のために活躍し、数々の功績を残している。
昭和2年(1927年)10月1日生まれ、平成18年(2006年)1月26日逝去、78歳。

旧植木町

境 米蔵氏
昭和51年（1976年）
6月30日顕彰

県議会議員を経て、旧植木町初代町長（通算４期）。旧町の産業・経済発展の礎を築いた。開田事業による農業の構造改革及び企業誘致により地域の発展に貢献した。また、西南の役旧原坂を公園化し、戦跡の保存・観光振興に努めた。
明治30年(1897年)10月20日生まれ、昭和53年(1978年)1月2日逝去、80歳。

木村 学氏
昭和58年（1983年）
6月21日顕彰

旧植木町教育長。徹底した住民対話型の公民館活動により地域社会の近代化に貢献した。第４代植木町長として住民福祉の向上に努める一方、文芸作家として生涯にわたる執筆活動、郷土史研究により、郷土の文化振興に貢献した。
明治38年(1905年)1月21日生まれ、平成6年(1994年)3月21日逝去、89歳。

熊本市
市勢要覧
2023

City of Kumamoto

令和5年(2023年)8月発行
発行人／熊本市政策局総合政策部データ戦略課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2380

熊本市章

ひらがなの「く」の字を図案化したもので、市民の調和を基とし、たくましく発展する熊本市の姿を太い円で示したものです。
(昭和44年(1969年)8月1日制定)

Kumamoto City Song
熊本市歌

作詞／東岡 正治　作曲／鳥飼 哲夫　編曲／坂本英二
(昭和5年(1930年)3月制定)

一、霊峰阿蘇を遥かに望み　水白川の流れに沿いて
天下に名だたる古城の都　われらの都　大熊本市

二、常磐の緑いらかを包み　森の都と世に謳われて
文運さかゆる平和の都　われらの都　大熊本市

三、商工立市の営みしげく　いま新興の光に満ちて
生気ぞあふるる文化の都　われらの都　大熊本市

四、輝く進取の旗ひるがえし　西日本の最中に立ちて
いざいざ築かむ理想の都　われらの都　大熊本市

市の木
イチョウ
(イチョウ科)

熊本市民には熊本城が銀杏城といわれているようになじみ深く、強健で樹齢が長く、市街地の街路に多く植栽され、独特な尖円錐形の樹形をつくり春の緑陰、秋の黄葉とその美しさでよく知られている。
(昭和49年(1974年)10月9日制定)

市の花
肥後椿
(ツバキ科)

江戸時代から細川藩の庇護を受け、藩士をはじめ寺社地の豪族等の愛好家によって広められ改良を重ねて、清雅枯淡の味わいある銘花となったといわれている。肥後椿の特色は薄色の花弁が主流でよく整った一重咲きで、中心に金糸銀糸のような色鮮やかな太い雄しべが梅芯のように盛りあがるところにある。(昭和49年(1974年)10月9日制定)

市の鳥
シジュウカラ

全長約14.5㎝で、美しい澄んだ声でさえずり、多量の害虫を食べ、緑を守る益鳥として市民に親しまれている。金峰山や立田山、託麻三山など森に多く生息し白い胸に黒ネクタイ状の帯が目立つ可愛い姿で、四季を通じて観察される。
(昭和59年(1984年)5月22日制定)